



新日本フィルハーモニー交響楽団

Annual Report

アニュアルレポート 2008-2009

Contents

■ ごあいさつ	1
■ 新日本フィルハーモニー交響楽団プロフィール	2
■ 役員・評議員・顧問・団友一覧	3
■ 楽団概要・楽団員一覧	4
■ 2008～2009年 活動概要	
1. 総論	5
2. 自主演奏会・委託演奏会	6
3. アウトリーチ活動	8
4. パトロネージュ	9
附1. 自主演奏会記録	10
2. 委託演奏会記録	15
3. アウトリーチ活動記録	15
■ 2009～2010年に向けて 次年度の展望	
1. 総論	17
2. 演奏活動	17
3. 新クラシックへの扉スタート	17
4. 地域貢献・アウトリーチ活動	17
5. パトロネージュ	17
■ 各種データ	
1. シリーズ別来場者数／1公演当たり平均来場者数	18
2. 財務データ	19
3. パトロネージュ	20
4. 〈参考資料〉演奏会収支	21
■ 会員一覧	23
特別支援企業／団体・賛助会・維持会・新日本フィルを支えるすみだの会	

※本誌は2008年4月1日から2009年3月31日までのレポートになります。年間シーズン（毎年9月～翌年8月）とは異なります。
※ただし、役員・楽団員一覧及び会員一覧はそれぞれ2009年7月及び6月現在といたしました。

■ ごあいさつ



皆様には、平素から新日本フィルハーモニー交響楽団に対する多大なるご協力、ご支援をいただきまことにありがとうございます。本年も私どもの活動の記録、財務状況の報告としてアニュアルレポートをお届けいたします。ご一読いただければ幸いです。

2008年度は秋以降、世界中が100年に一度と形容されるような急激な経済状況の悪化に見舞われました。この厳しい状況の中、新日本フィルは楽団員、スタッフの努力そして何よりもご理解とご支援をいただいた皆様のおかげで当初予定を上回る業績を上げることができました。心よりお礼申し上げます。

演奏面においても音楽監督であるクリスティアン・アルミンクのもと充実した演奏会をお届けすることができました。なかでもフランス・ブリュッヘンによる「ハイドン・プロジェクト」は意欲的な企画として大きな話題となっただけでなくオーケストラの演奏レベル向上にも寄与するという、われわれ自身にとっても意義深いものとなりました。

また、新日本フィルの特長でもある学校や各種施設をお訪ねするアウトリーチ活動にも注力、たくさんの方々とふれあう場を持つことができました。

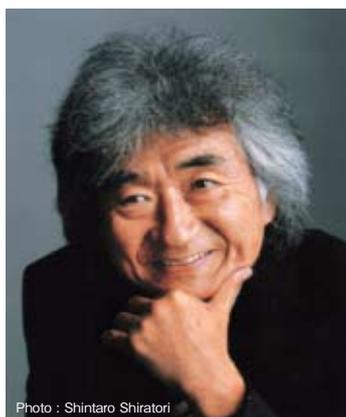
このように昨年はほぼ順調な歩みだったとはいえ、オーケストラ運営は皆様のお力なくしては成り立ちません。ますます厳しい経済環境が続きますが、私どもの演奏活動への理解と併せまして、財政的にも多額の運営資金を必要とするオーケストラの環境をご理解賜り、一層のご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 宮内 義彦

私が新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督になってから7年が過ぎようとしています。この期間を振り返ってみると音楽的には高い成果を上げることができたと思っています。しかし、一方では私が目標とする、新日本フィルを日本から世界へ発信する世界レベルのオーケストラにするという点では、あらゆる面で今まで以上の努力が必要だと考えております。音楽面では、もちろん音楽監督である私が全責任を負って邁進するつもりです。皆様方をお願いしたいのは同じ「夢」を持っていただくことと、それを支えてくださる経済的ご支援です。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。



財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
音楽監督 クリスティアン・アルミンク



「一緒に音楽をやろう」という気持ちで仲間たちと始めたオーケストラも今年で37年を迎えました。時間の流れと共にオーケストラを取り巻く環境は変化していきます。指揮者もソリストも聴衆のみなさんも世代から世代へと変わっていきます。でも、“新日本フィルハーモニー交響楽団”というオーケストラは皆さんがそこに「喜び」や「安らぎ」を感じて、必要だと思っただけの限りいつまでも変わることなく存在します。演奏家も作曲家も指揮者も、オーケストラ無くしては仕事はできません。オーケストラもご期待に応えられるよう努めてまいります。温かいご支援をいただいている皆様に感謝いたしますと共に、今後とも新日本フィルハーモニー交響楽団を永きに亘り応援していただけることをお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
桂冠名譽指揮者 小澤 征爾

■ 新日本フィルハーモニー交響楽団プロフィール



Photo : K.Miura

「一緒に音楽をやろう！」1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽団員による自主運営のオーケストラとして創立。声楽・舞台作品や近現代作品の重視等で独自の路線を歩み、小澤征爾オペラ・シリーズ、ハイドン交響曲全曲演奏を含む「室内オーケストラ・シリーズ」等、優れた企画と充実した演奏で好評を得てきた。また、1985年には小澤征爾と欧州公演を行い、成功を収めた。

1997年より葛飾北斎生誕の地、大相撲の殿堂・国技館のある、歴史と伝統の街・墨田に移り、同年オープンの「すみだトリフォニーホール」を活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチャイズ制を導入。その後開催されたロストロポーヴィチによる「シヨスタコーヴィチ・フェスティバル」や井上道義指揮の「マーラー・ツィクルス～交響曲全曲演奏会～」などでは非常に高い評価を得ている。現在、すみだトリフォニーホールとサントリーホールで定期演奏会、特別演奏会を行うほか、地元の学校体育館でのコミュニティ・コンサート、小中学校の音楽授業や各種施設を訪れるミニ・コンサートなど地域に根ざした演奏活動も精力的に行っている。

1998年には小澤征爾とロストロポーヴィチの指揮でロシア公演（ブリテン／戦争レクイエム）を行い日露の親善に務めた。

1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者となり、2003年、音楽監督として1971年生まれのカリスタ・アルミンクが就任。若手指揮者の異例の抜擢として音楽界の注目を集めた。

2004年にはスペイン公演を行い、現地でも高い評価を得た。また同年夏からは音楽家・久石譲と新プロジェクト“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”を立ち上げ、ジャンルに囚われないプログラムで新しい客層にアピールする一方、久石譲が音楽を担当している映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』でも演奏している。また同年より楽団員の自主的な発案で『室内楽シリーズ』も始め、東京のオーケストラの中で初めて本格的に取り組んだ楽団員による室内楽定期公演で、高い評価と人気を得ている。

アルミンク就任以降も、演出付きコンサート・オペラを毎シーズン上演しており、ベートーヴェンの歌劇『レオノーレ』（2005年）を日本初演、オネゲル作曲の劇的オラトリオ『火刑台上のジャンヌ・ダルク』（2006年）は新聞各紙で絶賛を浴び、第3回三菱信託音楽賞奨励賞を受賞するなど、高い評価を得た。

その後もワーグナーの歌劇『ローエングリン』、ヨハン・シュトラウスの喜歌劇『こうもり』（2007年）、R.シュトラウスの歌劇『薔薇の騎士』（2008年）を上演し、いずれも最大級の賞賛を得ている。

また、シーズン通じて「愛」「誘惑」「秘密」などテーマに沿ったプログラミング、現代音楽の積極的な紹介、新作委嘱など従来の日本のオーケストラになかった斬新なアイデアを随所に盛り込んだ企画・演奏が高く評価され、メディアでも「日本のオーケストラの新御三家のひとつ」として紹介された。

アルミンクとのレコーディングとしては『ブラームス：交響曲第1番&マーラー：交響曲第3番』、『マーラー：交響曲第5番』、『マーラー：交響曲「大地の歌」』、『ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付」』がリリースされており、特にマーラーの5番はドイツ国内でラジオ放送され「これまでの日本のオーケストラとは明らかに違う、ヨーロッパのオーケストラと比較してもAクラスの演奏」と評された。また、2008年12月には最新作『THE BEST WAGNER』がリリースされている。

2008/09シーズンはSecret-秘密-をテーマとし、D.ハーディング、F.ブリュッヘンらが客演、いずれも高い評価を得た。また09年、フランス・ブリュッヘンのプロデュースによるハイドン・プロジェクトを開催、各方面から絶賛を博した。

“常に新しい音楽性を探求する日本のオーケストラ”それが「新日本フィルハーモニー交響楽団」である。

役員・評議員・顧問・団友一覧

(2009年7月現在)

理事長 宮内 義彦
副理事長 日枝 久
専務理事 森 千二
専務理事補佐 横山 邦雄

理事 池田 弘一 井上 礼之 大賀 典雄 奥 正之 梶原 健司 ロバート・W・クライド 小林陽太郎 佐々木 元
庄子 幹雄 堀 章次 増田 宗昭 森 英恵 山崎 昇 和地 孝

監事 中村 芳夫 三好 正也

評議員 出光 昭介 岩沙 弘道 牛尾 治朗 氏家 純一 小澤 征爾 小野 敏夫 佐治 信忠 鈴木 茂晴 鈴木 道夫
堤 清二 中村喜久男 長妻 和男 成田 豊 久石 譲 福原 義春 松下 武義 峰岸 壮一 森川 敏雄
森田 清 諸橋 晋六 山崎 富治 吉井 澄雄 [50音順]

永久桂冠顧問 石川 六郎

顧問 坂田 俊夫

理事長補佐 永田 浩治

名誉首席 鈴木 清三 山口 浩一◇ 峰岸 壮一◇

名誉団友 奥山 澄雄 (前墨田区長) 朝比奈 隆 (指揮者) 実相寺昭雄 (演出家) 山本 直純 (指揮者)

団友 ルイ・グレラー 福田 和子 長谷川 修 福崎至佐子 山崎 恵裕 斎藤 明 福田日出彦 木村 茉莉 山口 恭範
榊原 栄 大津千代子 裕川 雅雄 瀬戸 瑠子 田中 栄一 宮崎 隆男 井口 久美 山口 裕子 牛尾 京子
草地 一義 松波 恵子 市岡みゆき 古川原裕仁 常光 誠治 小川内一彦◇ 植木 三郎◇ 関川 純二 中畑 幸子◇
高瀬 晃也 千葉 馨 鈴木理恵子 植草ひろみ 宮川 暉雄◇ 毛利 恭三◇ 成田 士◇ 根津 規子 杉江 弘仲◇
磯崎 陽一 岡谷 治夫 松原 勝也 松原千代繁 田中 成行◇ 勝亦 健◇ 古賀 慎治 山崎 聡 酒井 紀子◇
猪狩 光弘 桝窪 文雄 白尾 偕子 守山ひかる ゲルハルト・ワルブレヒト◇ 三界 秀実 篠原 辰夫 柴田 乙雄
会田 省三◇ 光信 利彦◇ 支倉二二男 中谷 孝哉 西本 徳子◇ 牧田 齊◇ 玉之内 勉 黒田 絵奈 原 雅道
植木 章◇ 大倉 滋夫◇ 山本 正治 金子 康夫 和田 健二◇

(◇定年退職)



Photo : K.Miura

楽団概要 楽団員一覧

(2009年7月現在)

創立 1972年
助新日本フィルハーモニー交響楽団

音楽監督
クリスティアン・アルミンク

桂冠名誉指揮者
小澤 征爾

ミュージック・アドヴァイザー
ゲルハルト・ボッセ

永久指揮者
齋藤 秀雄

フレンド・オブ・セイジ
ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ

新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ

音楽監督
久石 譲

ソロ・コンサートマスター
崔 文洙
ゲスト・ソロ・コンサートマスター
豊嶋 泰嗣
コンサートマスター
西江 辰郎

第1ヴァイオリン

堀内 麻貴○
山田 容子○
一重 弘子
稲垣 桃子
岸田 晶子
澤田 和慶
塩澤 菜美
宗田 勇司
竹中 勇人
田村 直貴
間垣 健二
松宮麻希子
山口 幸子
山本のりこ

第2ヴァイオリン

田村安紗美※□
吉村 知子※
佐々木絵理子○
戸松 智美○
石田はつみ
宇野沢美緒
小池めぐみ
篠原 英和
砂畑 佳江
中川富美子
中矢 英視
深谷 まり
山崎 恵子

ヴィオラ

篠崎 友美※
中村美由紀※
木村 恵子○
野村 圭子○
岩井香保里
小山 千鶴
醍醐 紀子
高橋 正人
原 孝明
間瀬 容子
矢浪 礼子
吉鶴 洋一

チェロ

川上 徹※
花崎 薫※
武澤 秀平○
貝原 正三
多田 麗王
弘田 徹
スティーヴン・フィナティ
森澤 泰
矢野 晶子
山崎 泉

コントラバス

竹田 勉※
渡辺 玲雄※
安保 龍也
石田 常文
廣嶋 嘉人
村松 裕子
森園 康一

フルート
荒川 洋※
白尾 彰※
野口 みお
フルート&ピッコロ
渡辺 泰

オーボエ

古部 賢一※
ファン=マヌエル・ルンブレラス※
浅間 信慶
七澤 英貴
オーボエ&イングリッシュホルン
森 明子

クラリネット

重松希巳江※
澤村 康恵*
植木 章□
鈴木 良昭(楽友)
クラリネット&バスクラリネット
鈴木 高通

ファゴット

河村 幹子※
坪井 隆明※
石川 晃
佐久間大作
ホルン
井手 詩朗※
吉永 雅人※
阿部 雅人
大野 雄太
金子 典樹
田中 雅樹
藤田麻理絵□

トランペット

服部 孝也※
デイヴィッド・ヘルツォーク※
市川 和彦
杉木淳一郎

トロンボーン

箱山 芳樹※
山口 尚人*
奥村 晃
宮下 宣子
バストロンボーン
門脇賀智志

テューバ

佐藤 和彦※

ティンパニ

川瀬 達也※
近藤 高顕※

パーカッション

小島 光
柴原 誠□
山田 徹

※首席
*副首席
○フォアシューパー
□契約団員

パーサネル・マネージャー 五島 励二

インスペクター 吉鶴 洋一
浅間 信慶
廣嶋 嘉人

ステージ・マネージャー 成瀬 清明
飯野 秀明

ライブラリアン 林 知也
中矢 英視
河田 信乃
高野 糸子
岡内瑛美子

事務局

事務局長 桑原 浩

事務局次長・経理・総務 白鳥美代子

事務局次長・事業 安江 正也

事業 小々馬慶太
桐原 美砂
(休団中)

武田 都
関 顕治

広報 小藤美由紀

宣伝 佐藤 容子

経理・総務 斎藤栄実子
井川 雅子

チケットボックス 室長 袴田 史恵
茂手木はな絵
栗田 博美
渡辺 進
馬淵 佳奈
吉田まゆき

パトロネージュ室 室長 水上 千秋
室長補佐 山田 裕平
國枝 純一
米山 進
渡邊 洋
山本 響子

文芸部
吉井 澄雄(舞台照明家)
新井 嶋子(音楽作家)

2008～2009年 活動概要

1. 総論

1-1 概況

当年度は米国サブプライム問題から端を発し、2008年9月のリーマンブラザーズの破綻に及び決定的な経済状況の悪化という結果をもたらされました。その一方、文化・スポーツの分野では北京オリンピックの開催、日本人3人のノーベル賞の受賞など明るいニュースもありました。

こうした状況の中で新日本フィルハーモニー交響楽団は音楽監督クリスティアン・アルミンクのもと、質の高い充実した音楽活動を続けてまいりました。新聞紙上で取りあげられることも多く、その評価は益々高くなっているものと考えております。一方、オーケストラの経済状況は依然として厳しい中、わずかですが予想を上回る収益を計上することができました。楽団員、スタッフの努力もさることながら新日本フィルを支えていただいている多くの方々、定期会員をはじめ多くの聴衆の皆様のおかげと感謝しております。

新日本フィルは古今東西、過去より現在に至る偉大な作曲家の残したたくさんの名曲の演奏を通じて聴衆の皆様ひいては社会に貢献する団体です。活動にあたっては第一に“音楽”そのものを大切に考えています。一方どのような形で社会に貢献していくかを常に模索しています。オーケストラ事務局ではそれらを実現する為にそれぞれのセクションが積極的に新しい取り組みに挑戦し、成果を出しつつあります。

これからも努力を怠ることなく、“良い音楽”のための活動にまい進してまいります。

1-2 充実した演奏活動

クリスティアン・アルミンクは新日本フィルの音楽監督として定期演奏会すべてのプログラミング、指揮者・ソリストの人選に責任者として関わっています。当年度は、自ら選んだ“テーマ”「抵抗」～「秘密」に沿った独自の個性あふれるプログラムを組みました。また、プログラムに最適な優れたアーティストを日本および世界から皆さんにご紹介しました。これらは指揮者としてではなく音楽監督として重要な仕事となっています。

歌劇としてはもちろん、その管弦楽の中にある魅力をステージの上で引き出すことに成功したR.シュトラウスの「薔薇の騎士」公演、ワーグナー、バルトークの作品の演奏にモンテヴェルディ、ジュズワルドの演奏を挟むことによってそれぞれを際立たせたプログラミングの妙などが代表的なものとしてあげられます。また就任当初から進めている近現代、同時代者の音楽の紹介にも積極的に取り組みました。2度にわたるウイリの作品、他に大御所デュティユー、シCHEDリン、まさに今が旬のクルターク、シュタウト、ウイドマンなど各々強い印象を残しました。自らの指揮以外の部分ではフランス・ブリュッヘンによる“ハイドン・プロジェクト”がこの年の日本の音楽界の中で最も記憶に残るもののひとつとなりました。ハイドン没後200年に合わせて紹介する企画は内外より高い評価を受けました。その他欧州で大活躍する期待の若手指揮者のハーディング、ドイツ、フランスで着実にその成果を上げているベテラン指揮者カンブレランらの招聘も大きな話題となりました。

以上の活動はすみだトリフォニーホールという本拠地を持ち、素晴らしい音響空間でリハーサルを行えるという利点に支えられ、はじめて可能になっています。

1-3 斬新な試み—ハイドン・プロジェクト

新日本フィルハーモニー交響楽団はその音楽活動の中心を定期演奏会にしていますが、それ以外にも長年あためている企画の実現や、指揮者との新たな出会いもめざしています。それらは経費のかかる可能性も高く、行政、民間の企業などからのご協力が不可欠です。本年度、幸運にも素晴らしい指揮者との出会いと皆様のご協力を得ることができ、実現したものが、フランス・ブリュッヘンによる“ハイドン・プロジェクト”です。

2009年はヨゼフ・ハイドン（1732-1809）の没後200年に当たり、オーストリア・ドイツを中心に多くのイベントや音楽会が開催されています。日本においてハイドンは〈交響曲の父〉と呼ばれ親しまれてはいるものの、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスなどに比べると演奏会でその交響曲をまとめて聞く機会には恵まれていません。今回その104曲ある交響曲のうち晩年の12曲（ロンドン・セット）を取り上げました。初共演以降新日本フィルと良好な関係を続けているブリュッヘンからの強い希望で実現したものです。4回にわたる演奏会を連続して聞かれたお客様も多く、この機会にあらためて作曲家ハイドンの偉業を紹介できたことは意義のあったことと考えています。

今回は全12曲、4回にわたる演奏会とは別に番外編として定期演奏会においてオラトリオ「天地創造」を取り上げ、全体として“ハイドン・プロジェクト”としました。

このプロジェクトは国・墨田区の助成や協力、この意義を認めていただけた民間企業からの多大なご支援、指揮者の母国の大使館である在日オランダ大使館の後援、そしてこの企画を応援していただいた多くの聴衆の方のご協力により実現することができました。

1-4 地域を拠点とした社会貢献

新日本フィルが日本で初めてフランチャイズ制を導入し、すみだトリフォニーホールを本拠地としてから10年が経過しました。この仕組みを取り入れたことにより大幅な演奏の質の向上が実現したのはもちろん、地域社会との結びつきが深まり、アウトリーチ活動を通じたクラシック音楽の普及にも貢献できるようになりました。

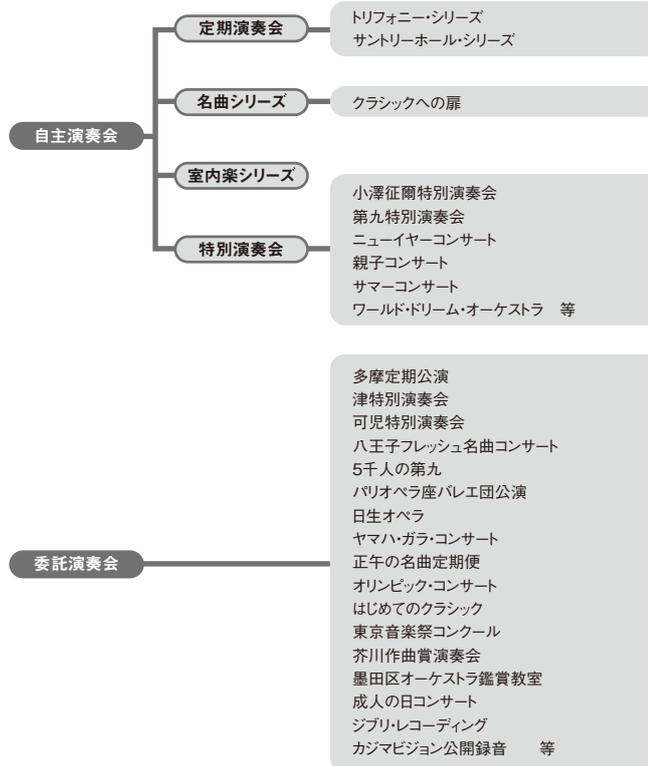
新日本フィルのメンバーは毎年、墨田区内の小中学校、福祉施設を訪問し音楽の授業やミニコンサートを行っています。この活動は楽団員にとっても意義深いものとなっています。プログラムの選定などに楽団員自らが主体的に取り組み、毎年地域の方々との交流を楽しみに活動を続けています。10年を過ぎた今、新日本フィルは地域の方々との深い絆を築くことができましたと自負しております。

1-5 質の高い音楽をより多くの方に

新日本フィルはこのような実績を踏まえ、首都圏以外の地域での演奏にも力を入れています。当年からは岐阜県可児市と契約を結び定期的にコンサートやアウトリーチ活動を開催することになりました。従来から定期的にコンサートを行っている三重県津市ではジュニアオーケストラの指導にも取り組みました。新日本フィルは質の高い演奏会を全国各地で展開すべく努力を続けていきます。

2. 自主演奏会・委託演奏会

2-1 新日本フィルの演奏会の概要



2-2 定期演奏会

■ 2-2-1 トリフォニー・シリーズ 16回開催

本拠地、すみだトリフォニーホールで開催される定期演奏会。この公演ではクラシックの名曲はもちろん、積極的に日本初演の曲や現代曲にも取り組んで音楽芸術の向上をめざしています。

- 4月…フランスの中堅ファブリス・ボロンが得意とするルーセルで登場。実力派若手ヴァイオリニスト米元響子とはデュティエユで共演。
- 6月…待望のヒンデミット「画家マチス」公演。ベテランピアニスト館野泉とのラヴェルの左手の協奏曲。
- 7月…現代曲は欧州で注目のウィリ作品をベルリン・フィルの首席ホルン奏者シュテファン・ドールと日本初演。新日本フィルソロ・コンサートマスターの崔は自信のショスタコーヴィチの2番を演奏。
- 9月…ウィーン出身のアルミンクによるR.シュトラウスの歌劇「薔薇の騎士」（コンサートオペラ）。話題の邦人ソプラノ藤村実穂子と共演。
- 10月…ドイツ音楽の伝統を担っているヴォルフ＝ディータ・ハウシルトによるベートーヴェンの交響曲2曲の重厚な公演。
- 11月…アルミンクの個性溢れるプログラム。マーラーの遺作、第10番のアダージョと武満、クルタークの作品の組み合わせ。
- 2月…没後200年を迎えるハイドン作品オラトリオ「天地創造」。ブリュッヘンによるハイドン・プロジェクトの幕開けとなる。
- 3月…現在世界で最も将来を囑望されている指揮者D.ハーディングが定期初登場をベルリオーズの幻想交響曲で飾りました。

■ 2-2-2 サントリーホール・シリーズ 7回開催

トリフォニー・シリーズと違い平日にコンサートを開催。仕事帰りのお客様にも楽しんでいただける演奏会を展開しています。

- 4月…ショスタコーヴィチのエキスパートであるアレクセーエフによる11番の交響曲とロシアの作品による公演。
- 5月…新日本フィルゲスト・ソロ・コンサートマスター豊嶋泰嗣によるコルンゴルドの協奏曲とR.シュトラウスの大作「ツァラトゥストラはかく語りき」。
- 7月…待望のカンブルラン指揮による公演。欧州で話題の作曲家ウイドマン作品の日本初演。
- 9月…シーズンのテーマ「秘密」によるアルミンクらしいバルトークを中心とした凝ったプログラム。
- 10月…メンデルスゾーンの知られざる作品。ピアノ協奏曲の日本初演。
- 11月…新日本フィルで3回目の紹介となる作曲家ウィリの作品。後半はヤナーチェクの「シンフォニエッタ」（NHKが収録）
- 3月…D.ハーディング指揮による注目のベートーヴェンの「英雄」。

2-3 名曲シリーズ

すみだトリフォニーホールで行う、親しみやすい名曲を中心とした演奏会。墨田区の協力を得てチケットを安価に販売し地元を始め多くの方々にクラシック音楽の魅力をお届けしています。このシリーズは本年をもってひとまず終了し、来シーズンからは装いも新たに新しい企画をお届けします。

- 4月…アレクセーエフが得意のチャイコフスキープログラム。
- 6月…ベートーヴェンとシューベルトの名曲をアルミンクが指揮。
- 7月…注目の若手ピアニスト小菅優がモーツァルトで登場。
- 9月…アルミンクがハイドン、モーツァルトの古典派を指揮。
- 10月…音楽監督の強い推薦によりクリストフ・ゲッショルトがピアニスト児玉麻里と共演。
- 2月…ピアニスト清水和音でラフマニノフ3番。アルミンクはアメリカのコーブランドの作品を演奏。



Photo : K.Miura



Photo : K.Miura

2-4 室内楽シリーズ 10回開催

AIGグループの協賛による室内楽コンサートも5年目を迎え、地元墨田区にも定着。NJPメンバーの音楽活動においても無くてはならぬものとなっています。本年は2009年に没後200年を迎えるハイドン作品を中心に、他の作曲家との組み合わせを企画しました。公演後のワンコインパーティーも盛況で聴衆と演奏家の貴重な交流の場となっています。

2-5 特別演奏会

新日本フィルは、定期的に行う演奏会のほかにも毎年たくさんの特長ある演奏会を特別演奏会としてお届けしています。

<主要特別演奏会>

- ・親子コンサート（4月）
“オーケストラから飛び出すヒーローたち”で始まった本シリーズも9回目を迎え、地元のみにとどまらず、多くの親子の来場を得ました。子供達がオーケストラに出会う大切な一日を提供している公演。
- ・小澤征爾・新日本フィル特別演奏会（5月・1月）
当団の桂冠名誉指揮者である小澤征爾指揮による演奏会。新日本フィルの首席奏者、コンサートマスターらとの共演による協奏曲。またチャイコフスキー・コンクール優勝者であるピアニスト上原彩子との共演が行われました。
- ・サマーコンサート（8月）
家族で楽しめる演奏会を指揮者井上道義の企画により開催。ロビーでフリーマーケットを開催し、収益は車椅子の提供と発展途上国への植樹に活用いたしました。
- ・新日本フィルがいっぱい（9月）
シーズンの開幕を告げる演奏会。新日本フィルを支援していただいている方をお招きするとともに、一般の方にはチケットを低価格にて提供。
- ・第九特別演奏会（12月）
地元すみだトリフォニーホールに加え、サントリーホール、オーチャードホールの3カ所で開催。協賛企業も2社を得ました。指揮は広上淳一。
- ・ニューイヤーコンサート（1月）
年始をお客様と共に祝う演奏会。お正月ならではの楽しい企画を満載。指揮は下野竜也。
- ・ハイドン・プロジェクト（2月）
没後200年を迎えたハイドン作曲の最晩年12曲の交響曲（ロンドン・セット）を取り上げました。指揮はこの公演を企画したフランス・ブリュッヘン。オーケストラにとって重要なレパートリーであるこれらの曲を“賢人”ブリュッヘンがまとめあげました。



2-6 委託演奏会

全国各地の公共および民間のホール、新聞社などの民間企業、その他コンサート制作会社などより委託を受けて出演する演奏会。本年度は87公演を数えました。墨田区以外に定期的な関係を持つ、多摩市、三重県、可児市を中心に各地で行われました。主な公演として小澤征爾との酒田、新潟公演、パリ・オペラ座バレエ団との公演、作曲家久石譲と映画「崖の上のポニョ」の録音、武道館でのコンサートなどが含まれます。



3. アウトリーチ活動

3-1 青少年に対する音楽の普及、社会貢献

■音楽授業 39回開催

新日本フィルの楽団員が本拠地墨田区の小中学校に赴いて音楽の授業を開催しています。08年度は小学校26校、中学校13校を延べ99名の楽員が訪問しました。この活動は本拠地が移転する前から継続しており、今では「墨田区の学校を卒業した人は必ずこの授業を受けた経験がある」といえるまでに定着しています。

楽団員たちは毎年、単に演奏を聴かせるだけでなく、わかりやすく興味を持ってもらいながら授業を進められるよう工夫を凝らしています。生徒たちからは喜びや感動を綴ったたくさんの感想文が届き、それが楽団員たちの積極的な気持ちを高める源泉となっています。

■オーケストラ鑑賞教室 4回開催

墨田区内の小中学生をトリフォニーホールに招き、音楽授業では体験不可能なフルオーケストラを聴いてもらっています。こうして墨田区は居住するすべての子供たちがオーケストラを聴き、感動を体験できる街に育っています。ホール設立当初掲げられた音楽都市構想がその実現に向かって進んでいること、そしてそのお手伝いをしていることを実感できる企画です。

3-2 訪問コンサート

■ふれあいコンサート 20回開催 コミュニティコンサート 2回開催

新日本フィルの楽団員が墨田区内の病院や社会福祉施設を訪れミニコンサートを開催、普段コンサートホールにおいでいただけない方々にも音楽を聴いていただく機会を提供しています。また、墨田区役所のロビーでも「アトリウムコンサート」を開催し来庁者にお楽しみいただいております。さらには学校の体育館で地域の方々と子供たちを対象としたコミュニティコンサートも開催、新日本フィルはこうした訪問コンサートを通じてクラシック音楽の普及に一役かっています。

また、本年は提携している可見市等においてもアウトリーチ活動を行いました。

3-3 演奏クリニック

■ジュニアオーケストラ指導、楽器演奏指導 98回開催

墨田区と三重県で楽員がジュニアオーケストラを指導しています。また三重県、福島県では楽器演奏指導も行いました。このように新日本フィルは日本各地でもクラシック音楽の普及と育成に力を入れています。



4. パトロネージュ

現代社会においては文化芸術を醸成させるには国家が主体となるわけでもなく、特定の団体が主体となるわけでもありません。官、民、個人、団体を問わずより多くの人々が手を携え、生まれ育って行くのが本来の姿ともいえるでしょう。また、文化芸術が定着するには相当の歳月を要するといわれています。特に日本にクラシック音楽を定着させるには150年以上の歳月がかかるとまでいわれています。そうした長い年月の中で時には社会・経済情勢が悪化することもあります。新日本フィルはどのような状況下でも地道に活動を続け、より多くの方々に音楽の素晴らしさをお伝えすることが重要な使命だと考えています。

オーケストラ運営にかかる経費を入場料収入や外部出演料だけでは賅いきれていない実情の中、幸い多くの企業、個人の皆様からの様々なご支援、浄財で運営を成り立たせております。

しかしながらこれを安定させ、更なる「演奏の充実」を図るためにはより強固な基盤にしていく必要があります。そしてその高められた音楽性を背景に音楽文化をより広く普及させていくことが私共の使命であり、存在意義だと思っております。私共のこれらの活動がきっと日本の社会を心豊かなものにするのだ、と願いそして信じ、日々活動しております。

このような状況の中で、新日本フィルの活動理念である【音楽芸術の普及向上を図り、日本の芸術文化の発展に寄与する】ための様々な演奏会活動、新日本フィルの活動事業の一つである【青少年に対する音楽の普及活動】を通じて日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献に努めることに、深く共感いただける企業、個人の皆様にパトロネージュシステムをご案内しております。

私たちはより多くの素晴らしいソリストや指揮者の方々をプログラムに組み込んでいきたい。そしてより腰を据えて行える自主演奏会を増やして、芸術性の更なる向上と日本社会への音楽普及を図りたい。また、青少年に対する音楽の普及活動をより強力に推進すべく、アウトリーチ活動も自主企画として行っていきたい。そしてその根底を担う楽団員の待遇面でもせめて日本の標準値まで持っていきたい等々、目標は多々ございますが、現状の運営面から考察すれば、より効率的に運営するとはたしませんが非常に難しい状況です。これらをご賢察いただき、新日本フィルのパトロネージュシステムへのご理解ご協力をお願い申し上げます。

■パトロネージュ室

音楽の理念は普遍的なものであり、社会情勢によって変化するものではありませんが、運営の方法は工夫ができます。新日本フィルはパトロネージュシステムへ深いご理解をいただき、あわせて楽団の効率的経営を図るため、2007年4月にパトロネージュ室を設置しました。同時にご支援者のご意見を伺う窓口として機能させ、それらを運営に反映させるための体制を整えつつあります。

パトロネージュシステムへのお問い合わせ、システムに関しましてのご意見、ご要望、ご提案等々ございましたら、お気軽にパトロネージュ室をご活用下さいますようお願いいたします。

■パトロネージュシステム

■特別支援企業・特別支援団体

新日本フィルを中核となって支えていただく企業・団体の皆様をお願いしているシステムです。新日本フィルの存立基盤をより確実なものにするための資金として、コンサートをはじめオーケストラ活動全般の運営経費に充当させていただきます。

■賛助会員

新日本フィルの運営の基盤を幅広く多くの企業や団体、そして個人の皆様に支えていただくシステムです。

ご支援額

- 法人会員 100万円（1口50万円）
- 個人会員 1口25万円 1口5万円 1口3万円
* 5万円及び3万円は2009年4月新設

■維持会員

新日本フィルがより良いオーケストラに成長することを温かく見守っていただいている、いわば後援会、ファンクラブといった性格のもので、個人の皆様が対象になっています。

ご支援額

- 個人 1口1万円

■新日本フィルを支えるすみだの会

新日本フィルが本拠地を置いている墨田区を中心とした、企業や個人の皆様方のご支援を願ってのシステムです。

ご支援額

- 法人・団体の皆様
 - ・特別法人スポンサー 1口 100万円
 - ・法人スポンサー 1口 50万円
 - ・法人サポーター 1口 10万円
- 個人の皆様
 - ・スポンサー 1口 25万円
 - ・サポーター 1口 1万円

パトロネージュシステムの趣旨をご理解くださりご支援いただきますことは、各企業また個人の皆様にとりましても社会貢献になると信じております。また、企業姿勢を社会に示すことにより、企業イメージ向上にもつながると信じております。私どもは皆様のご支援に比べより良いオーケストラ活動を行うとともに、活動結果や運営状況をご報告してまいります。

なお、新日本フィルは特定公益増進法人となっておりますのでご寄付に対する税制優遇処置がございます。また、賜ったご支援に対しましては、ささやかな特典を設けさせていただきます。ご支援の状況については、各種データ（20ページ）をご覧ください。

附1. 自主演奏会記録

1-1 定期演奏会第429回～第443回（合計23回）

■ トリフォニー・シリーズ 計16回

於：すみだトリフォニーホール

- ・第429回 4月11日（金）／4月12日（土）
指揮：ファブリス・ボロン
ヴァイオリン：米元 響子
ルーセル／バレエ音楽『バッカスとアリアーヌ』より第1 & 第2組曲
デュティユー／一つの和音の上で（2001/02）
ドビュッシー／「海」～3つの交響的素描～
- ・第431回 6月13日（金）／6月14日（土）
指揮：クリスティアン・アルミンク
ピアノ：館野 泉
ツィンマーマン／1楽章の交響曲
ラヴェル／左手のためのピアノ協奏曲 二長調
ヒンデミット／交響曲『画家マティス』
- ・第433回 7月18日（金）／7月19日（土）
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：崔 文洙（新日本フィル ソロ・コンサートマスター）
ホルン：シュテファン・ドール
ショスタコーヴィチ／ヴァイオリン協奏曲第2番嬰ハ短調op.129
ウィリ／永劫～ホルンとオーケストラのための協奏曲（2007）（日本初演）
ベートーヴェン／交響曲第2番二長調op.36
- ・第436回 9月25日（木）／9月27日（土）
指揮：クリスティアン・アルミンク
演出：飯塚 勳生
元帥夫人：ナンシー・グスタフソン
オクタヴィアン：藤村実穂子
オックス男爵：ビヤニ・トール・クリスティンソン
ゾフィー：ヒエン・ライス
ファーニナル：ユルゲン・リン
ヴァルツァッキ：谷川 佳幸 アンニーナ：増田 弥生
マリアンネ：田中三佐代 テノール歌手：佐野 成宏
警部、公証人：大塚 博章 元帥夫人の執事：渡邊 公威
動物商、食堂の主人：高野 二郎 帽子屋：國光ともこ
3人の孤児：佐藤奈加子、赤羽佐東子、金子 美香 他
合唱：栗友会合唱団、東京少年少女合唱隊
R・シュトラウス／楽劇『薔薇の騎士』op.59（コンサート・オペラ形式）
- ・第437回 10月17日（金）／10月18日（土）
指揮：ヴォルフ＝ディーター・ハウシルト
ベートーヴェン／交響曲第1番ハ長調op.21
ベートーヴェン／交響曲第7番イ長調op.92
- ・第439回 11月2日（日）／11月3日（月・祝）
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：イザベル・ファウスト
クルターク／石碑op.33（1994）
ベルク／ヴァイオリン協奏曲『ある天使の思い出のために』
武満 徹／映画『黒い雨』より弦楽オーケストラのための“死と再生”
マーラー／交響曲 第10番“アダージョ”嬰ヘ短調
- ・第441回 2月6日（金）／2月7日（土）
指揮：フランス・ブリュッヘン
天使ガブリエル&イヴ：マリン・ハルテリウス
天使ウリエル：ジョン・マーク・エイズリー
ラファエル&アダム：デイヴィッド・ウィルソン＝ジョンソン
合唱：栗友会合唱団
ハイドン／オラトリオ『天地創造』
- ・第442回 3月6日（金）／3月7日（土）
指揮：ダニエル・ハーディング
ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲
ラヴェル／ラ・ヴァルス
ベルリオーズ／幻想交響曲op.14



Photo : K.Miura



Photo : K.Miura



Photo : K.Miura



Photo : K.Miura

・第430回 4月24日(木)

指揮：ニコライ・アレクセーエフ
 チェロ：アルバン・ゲルハルト
 シCHEDリン／シヨスタコーヴィチとの対話op.113 (2001) (日本初演)
 チャイコフスキー／ロココ風の主題による変奏曲イ長調op.33 (原典版)
 シヨスタコーヴィチ／交響曲第11番ト短調『1905年』op.103

・第432回 6月19日(木)

指揮：クリスティアン・アルミンク
 ヴァイオリン：豊嶋 泰嗣
 (新日本フィル ゲスト・ソロ・コンサートマスター)
 シュタウト／『・・・まるで・・・』(1999/2000) (日本初演)
 コルンゴルド／ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.35
 R・シュトラウス／交響詩『ツァラトウストラはかく語りき』op.30

・第434回 7月28日(月)

指揮：シルヴァン・カンブルラン
 モーツァルト／交響曲第3番変イ長調k.319
 ウィドマン／アルモニカ (2007) (日本初演)
 ブルックナー／交響曲第4番変ホ長調『ロマンティック』(ノーヴァク版第2稿)

・第435回 9月11日(木)

指揮：クリスティアン・アルミンク
 ソプラノ：ナンシー・グスタフソン
 声楽アンサンブル：ラ・フォンテヴェルデ
 合唱：栗友会合唱団
 モンテヴェルディ／マドリガル曲集第7集より
 『眠っているの、ああむごき心』
 ワーグナー／楽劇『トリスタンとイゾルデ』より『前奏曲と愛の死』
 ジュズアルド／5声のマドリガル曲集第5巻より
 『お慈悲をと私は泣いて訴えるのだが』
 モンテヴェルディ／マドリガル曲集第7集より『ああ、私の恋人はどこに』
 バルトーク／バレエ音楽『中国の不思議な役人』(全曲) op.19
 ジュズアルド／5声のマドリガル曲集第5巻より
 『だが、惨い苦しみ之源である貴女』

・第438回 10月23日(木)

指揮：ヴォルフ＝ディーター・ハウシルト
 ピアノ：ロベルト・プロッセダ
 プフィツナー／歌劇『パレストリーナ』より3つの前奏曲
 メンデルスゾーン／ピアノ協奏曲ホ短調
 (マルチェロ・ブファリーニ補完版 (2006) (日本初演))
 ブラームス／交響曲第2番ニ長調op.73

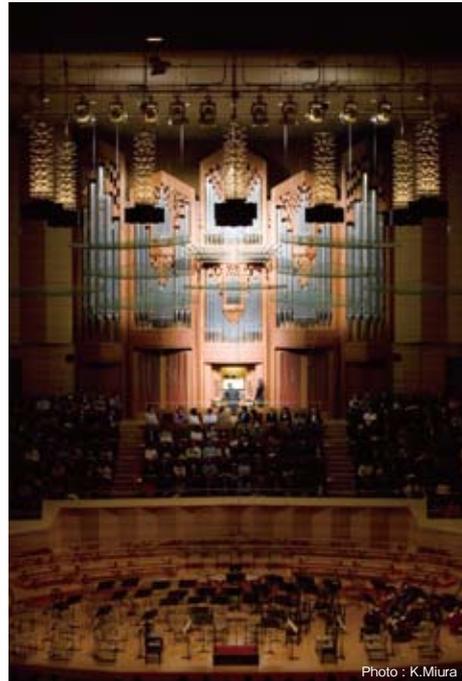


Photo: K.Miura

・第440回 11月29日(土)

指揮：クリスティアン・アルミンク
 フルート：マティアス・シュルツ
 オーボエ：ハンスイェルク・シュレンベルガー
 シヨスタコーヴィチ／交響曲第9番変ホ長調op.70
 ウィリ／『・・・久しい間・・・』(2003)
 ヤナーチェク／シンフォニエッタ

・第443回 3月11日(水)

指揮：ダニエル・ハーディング
 R・シュトラウス／交響詩『死と変容』op.24
 ベートーヴェン／交響曲第3番変ホ長調『英雄』op.55



Photo: K.Miura

1-2 その他の自主演奏会の開催 (合計31回)

■名曲シリーズ「クラシックへの扉」第76回～第81回 計6回

- ・第76回 4月19日(土)
指揮：ニコライ・アレクセーエフ
ピアノ：横山 幸雄
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番変ロ短調op.23
チャイコフスキー／交響曲第4番ヘ短調op.36
- ・第77回 6月7日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：ミラ・ゲオルギエヴァ
ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.61
シューベルト／交響曲7(8)番ロ短調『未完成』D.759
- ・第78回 7月12日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ピアノ：小菅 優
モーツァルト／ピアノ協奏曲第20番ニ短調k.466
メンデルスゾーン／交響曲第4番イ長調『イタリア』op.90
- ・第79回 9月7日(日)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：加藤 知子
ハイドン／交響曲第96番ニ長調『奇蹟』Hob.I-96
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調k.216
モーツァルト／交響曲第40番ト短調k.550
- ・第80回 10月11日(土)
指揮：クリストフ・ゲッショルト
ピアノ：児玉 麻里
モーツァルト／ピアノ協奏曲第27番変ロ長調k.595
チャイコフスキー／交響曲第6番ロ短調『悲愴』op.74
- ・第81回 2月1日(日)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ピアノ：清水 和音
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第3番ニ短調op.30
コーブラント／組曲『アパラチアの春』

■室内楽シリーズ2008 計10回

- ・第1回 4月18日(金)
ハイドン／弦楽四重奏曲第67番ニ長調『ひばり』op.64-5
メンデルスゾーン／弦楽八重奏曲 変ホ長調op.20
- ・第2回 6月17日(火)
ハイドン／弦楽四重奏曲第75番ト長調op.76-1
ロッシーニ／ソナタ第5番変ホ長調&第6番ニ長調
ロッシーニ(ペール&ツァヒエルト編曲版)／
ソナタ第4番変ロ長調&ソナタ第1番ヘ長調(管楽四重奏版)
- ・第3回 7月16日(水)
ハイドン／弦楽四重奏曲第79番ニ長調『ラルゴ』op.76-5
ラハナー／七重奏曲変ホ長調
- ・第4回 9月4日(木)
ハイドン／弦楽四重奏曲第82番ヘ長調『雲が行くまで待とう』op.77-2
テレマン／4本のためのコンチェルト
ウーバー／3つの小品op.29
プーランク／ピアノと管楽五重奏のための六重奏曲
- ・第5回 10月15日(水)
ハイドン／弦楽四重奏曲第76番ニ短調『五度』op.76-2
シューベルト／八重奏曲ヘ長調op.166 D.803
- ・第6回 11月13日(木)
ハイドン／ディヴェルティメント
(バリトン三重奏曲Hob.XIV-113, 95, 81より：チェロ三重奏版)
アーノルド／金管五重奏曲op.73
チャイコフスキー／弦楽六重奏曲『フィレンツェの思い出』ニ短調op.70
- ・第7回 12月1日(月)
ウーバー／クラリネット五重奏曲変ロ長調op.34
ベートーヴェン／弦楽四重奏曲第9番ハ長調
『ラズモフスキー第3番』op.59-3
- ・第8回 1月27日(火)
モーツァルト(J・ヴェント編)／歌劇『魔笛』(フルート四重奏版)より
ブラームス／弦楽五重奏曲第1番ヘ長調op.88
- ・第9回 2月19日(木)
ハイドン／弦楽四重奏曲第74番ト短調『騎手』op.74-3
ショーソン／
ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲ニ長調op.21
- ・第10回 3月9日(月)
モーツァルト／グラスハーモニカのためのアダージョとロンドハ短調k.617
ハイドン／弦楽四重奏曲『十字架上のキリストの最後の七つの言葉』op.51



Photo : K.Miura

■小澤／新日本フィル 特別演奏会 I

- ・ 5月16日 (金) サントリーホール Aプロ
 - ・ 5月17日 (土) すみだトリフォニーホール Bプロ
- 指揮：小澤 征爾
オーボエ：古部 賢一 Aプロ (新日本フィル 首席オーボエ奏者)
ピアノ：上原 彩子 Bプロ

【Aプロ】

- モーツァルト／ディヴェルティメントニ長調 k.136
- モーツァルト／オーボエ協奏曲ハ長調 k.314
- チャイコフスキー／交響曲第6番短調『悲愴』 op.74

【Bプロ】

- ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第3番ニ短調 op.30
- チャイコフスキー／交響曲第6番短調『悲愴』 op.74



写真：竹原 伸治

■小澤／新日本フィル 特別演奏会 II

- ・ 1月16日 (金) すみだトリフォニーホール
 - ・ 1月17日 (土) サントリーホール
- 指揮：小澤 征爾
オーボエ：ファン＝マスエル・ルンブレラス
(新日本フィル 首席オーボエ奏者)
ファゴット：河村 幹子 (新日本フィル 首席ファゴット奏者)
ヴァイオリン：豊嶋 泰嗣
(新日本フィルゲスト・ソロ・コンサートマスター)
チェロ：花崎 薫 (新日本フィル 首席チェロ奏者)
ハイドン／協奏交響曲変ロ長調Hob.I-105
ブルックナー／交響曲第1番ハ短調 (リンツ稿・ノーヴァク版)



写真：竹原 伸治

■ハイドン・プロジェクト

ハイドン交響曲 (ロンドン・セット全12曲) の全曲演奏会
指揮：フランス・ブリュッヘン

- ・ 第1回 2月11日 (水・祝)
交響曲第96番ニ長調『奇蹟』 Hob.I-96
交響曲第95番ハ短調Hob.I-95
交響曲第93番ニ長調Hob.I-93
- ・ 第2回 2月15日 (日)
交響曲第94番ト長調『驚愕』 Hob.I-94
交響曲第98番変ロ長調Hob.I-98
交響曲第97番ハ長調Hob.I-97
- ・ 第3回 2月20日 (金)
交響曲第99番変ホ長調Hob.I-99
交響曲第100番ト長調『軍隊』 Hob.I-100
交響曲第101番ニ長調『時計』 Hob.I-101
- ・ 第4回 2月28日 (土)
交響曲第102番変ロ長調Hob.I-102
交響曲第103番変ホ長調『太鼓連打』 Hob.I-103
交響曲第104番ニ長調『ロンドン』 Hob.I-104

※この他2月6日、7日に第441回定期演奏会で演奏されたオラトリオ
「天地創造」を加え全体をハイドン・プロジェクトとした。



写真：竹原 伸治



写真：竹原 伸治

■特別演奏会 “親子コンサート”

- ・ 4月29日 (火・祝)
指揮：梅田 俊明
ゲスト：古今亭志ん輔
ダニー・エルフマン／『バットマン』よりメイン・タイトル
チャイコフスキー／「くるみ割り人形」組曲op.71aより「行進曲」
ドヴォルジャーク／「チェコ組曲二長調」op.39より「ポルカ」
アンダーソン／『トランペット吹きの休日』
パーセル／劇音楽『アプデラザール(ムアア人の復讐)』Z.570より「ロンド」
ビゼー／「アルルの女」第2組曲より「メヌエット」
杉浦邦弘／音楽物語「ユメちゃんの“ズッコケかぐや姫”」
ハルヴォルセン／ロシア貴族の入場行進曲
J・シュトラウス／新ピツィカート・ポルカop.449
鷺巣詩朗／『新世紀“エヴァンゲリオン”』より
久石 譲／『風の谷のナウシカ』より
ワーグナー／歌劇『タンホイザー』序曲



Photo : K.Miura

■特別演奏会 “サマーコンサート～みちよし先生の夏休みⅡ”

- ・ 8月17日 (日)
指揮・お話：井上 道義
テノール：村上 敏明
＜校長先生のお話＞ワーグナー／歌劇『タンホイザー』より行進曲
＜社会＞ハチャトリアン／バレエ音楽『ガイヌ』より子守唄、剣の舞
＜図工＞ヨゼフ・シュトラウス／『鍛冶屋のポルカ』
＜算数＞バーンスタイン／ミュージカル『キャンディード』序曲
＜パソコン(技術)＞アンダーソン／タイプライター
＜体育＞プッチーニ／歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
＜劇＞ワーグナー／歌劇『タンホイザー』序曲



Photo : K.Miura

■新日本フィルがいっぱい

- ・ 9月6日 (土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
独奏：河村 幹子 (新日本フィル 首席ファゴット奏者)
渡辺 玲雄 (新日本フィル 首席コントラバス奏者)
崔 文洙 (新日本フィル ソロ・コンサートマスター)
曲目：ヴィヴァルディ／ファゴット協奏曲第6番ホ短調op.45-2 P.137
ポッテシーニ／カプリッチョ・デイ・ブラヴァーライ長調
J・バッハ／ヴァイオリン協奏曲第2番ホ長調BWV1042
ブラームス／交響曲第4番ホ短調op.98



Photo : K.Miura

■第九特別演奏会 計3回

- ・ 12月19日 (金) 会場：サントリーホール
 - ・ 12月21日 (日) 会場：オーチャードホール
 - ・ 12月23日 (火・祝) 会場：すみだトリフォニーホール
- 指揮：広上淳一
- ソプラノ：釜洞 祐子 アルト：重松 みか
テノール：市原 多朗 バリトン：河野 克典
合唱：栗友会合唱団 合唱指揮：栗山 文昭
- ミハエル・ハイデン／クリスマスのパストレルロp.91
ベートーヴェン／交響曲第9番二短調「合唱付」op.125

■特別演奏会 ニューイヤーコンサート

- ・ 1月3日 (土)
指揮：下野 竜也
司会：榎本有紀子
ヴァイオリン：田村安紗美 (新日本フィル 首席ヴァイオリン奏者)
J・シュトラウス／喜歌劇『こうもり』序曲
『美しく青きドナウ』『雷鳴と稲妻』『芸術家のカドリューク』
ブリテン／『音楽のマチネ』よりワルツ
シベリウス／『祝祭アンダンテ』
ベートーヴェン／ロマンス第2番へ長調op.50
レスピーギ／交響詩『ローマの松』より「アッピア街道の松」



Photo : K.Miura

附2. 委託演奏会記録

2008年度は一般公演69回、音楽教室3回、ファミリー向け4回、オペラ5回、バレエ4回、録音2回の計87回の委託演奏会を行いました。地域別では東京のほか山形、茨城、埼玉、神奈川、山梨、新潟、富山、福井、静岡、愛知、岐阜、三重と全国各地のお客様にコンサートをお楽しみいただきました。

附3. アウトリーチ活動記録

■墨田区・オーケストラ鑑賞教室 計4回

・12月2日(火) 2回(小学生)

指揮：円光寺雅彦

オルガン：室住 素子

J・ウィリアムズ／『スター・ウォーズ』より“メイン・タイトル”

オーケストラによる楽器紹介(ソロにて)

レオン・ボエルマン／ゴシック組曲op.25より『トッカータ』

グリーグ／劇音楽『ペール・ギュント』第一組曲

全員合唱／『世界がひとつになるまで』

シベリウス／交響詩『フィンランディア』

・1月28日(水) 2回(中学生)

指揮：下野 竜也

ヴァイオリン：崔 文洙(新日本フィル ソロ・コンサートマスター)

J・ウィリアムズ／『ハリリー・ポッター』より『ヘドウィグのテーマ』

ワーグナー／『ワルキューレの騎行』

プロコフィエフ／『ロメオとジュリエット』組曲第2番より『モンダグュー家とキャピュレット家』

ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲『四季』より『春』第1楽章

チャイコフスキー／大序曲『1812年』

■コミュニティ・コンサート 計2回

・10月26日(日) 11:00 墨田区立鐘淵中学校

15:30 墨田区立文花中学校

指揮：手塚 幸紀

トランペット：杉本淳一郎(新日本フィル トランペット奏者)

フンパーディンク／『ヘンゼルとグレーテル』より“前奏曲”

チャイコフスキー／歌劇『エフゲニー・オネーギン』より“ポロネーズ”

ハイドゥン／トランペット協奏曲より

チャイコフスキー／バレエ音楽『くるみ割り人形』組曲



■すみだふれあいコンサート 計20回

・ 7月24日	亀沢のぞみの家	木管五重奏	5名
・ 7月24日	墨田福祉作業所	木管五重奏	5名
・ 8月22日	本所保健センター	ヴァイオリン独奏	1名
・ 8月25日	墨田区防災フェア	弦楽四重奏	4名
・ 9月8日	ワクワク工房デザインサービス	フルート、ピアノ	2名
・ 9月19日	なりひら高齢者在宅サービスセンター	フルート、ピアノ	2名
・ 10月31日	シルバープラザ梅若	ファゴット、ピアノ	2名
・ 11月26日	たちばなホーム	オーボエ、ピアノ	2名
・ 12月8日	都立墨東病院	弦楽四重奏	4名
・ 12月24日	同愛記念ホーム	クラリネット、ピアノ	2名
・ 1月14日	すみだふれあいセンター	フルート、チェロ	2名
・ 1月30日	立花ゆうゆう館	弦楽四重奏	4名
・ 2月6日	はなみずきホーム	フルート、ピアノ	2名
・ 2月8日	いきいきプラザ	オーボエ、チェロ	2名
・ 2月13日	すみだ福祉保健センター	ヴァイオリン、チェロ	2名
・ 2月14日	文花子育てひろば	弦楽四重奏	4名
・ 2月19日	和翔苑	トロンボーン2名、テューバ	3名
・ 3月10日	平和祈念コンサート	フルート、オーボエ、ファゴット	3名
・ 3月21日	老健隅田秋光園	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 3月25日	賛育会東京清風園	フルート、ピアノ	2名

墨田区内の福祉施設などに楽員延べ55名派遣

■音楽授業への参加 計39回

・ 6月2日	横川小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 6月14日	錦糸中学校	トランペット、ピアノ	2名
・ 6月16日	柳島小学校	クラリネット、ピアノ	2名
・ 6月19日	言問小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 6月21日	外手小学校	クラリネット、ピアノ	2名
・ 6月24日	両国中学校	フルート、クラリネット、ファゴット	3名
・ 6月24日	堤小学校	打楽器	2名
・ 6月25日	中川小学校	弦楽四重奏	4名
・ 6月26日	中和小学校	トロンボーン	3名
・ 7月1日	緑小学校	ホルン、ピアノ	2名
・ 7月3日	梅若小学校	コントラバス	2名
・ 7月7日	向島中学校	コントラバス	2名
・ 7月16日	曳舟小学校	ホルン、ピアノ	2名
・ 7月18日	業平小学校	トランペット、ホルン、トロンボーン、テューバ	5名
・ 9月18日	吾嬬第二中学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 9月24日	立花中学校	トロンボーン	3名
・ 10月17日	立花吾嬬の森小学校	打楽器	2名
・ 10月18日	文花中学校	弦楽四重奏	4名
・ 12月5日	八広小学校	トロンボーン	3名
・ 12月8日	東吾嬬小学校	フルート、オーボエ、ファゴット	3名
・ 1月14日	第一寺島小学校	打楽器	2名
・ 1月16日	錦糸小学校	ヴァイオリン、打楽器	3名
・ 1月19日	隅田小学校	トランペット、ピアノ	2名
・ 1月20日	両国小学校	フルート、オーボエ、ファゴット	3名
・ 1月21日	第二寺島小学校	フルート、オーボエ、ファゴット	3名
・ 1月26日	菊川小学校	打楽器	2名
・ 2月2日	第四吾嬬小学校	トロンボーン、ピアノ	2名
・ 2月3日	小梅小学校	テューバ、ピアノ	2名
・ 2月4日	第三吾嬬小学校	ヴァイオリン、打楽器	3名
・ 2月5日	文花中学校夜間学級	打楽器	2名
・ 2月9日	二葉小学校	弦楽四重奏	4名
・ 2月12日	押上小学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 2月26日	堅川中学校	チェロ、ピアノ	2名
・ 2月27日	第三寺島小学校	ヴァイオリン、オーボエ、ピアノ	3名
・ 3月4日	寺島中学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 3月9日	本所中学校	トロンボーン	3名
・ 3月11日	吾嬬第一中学校	フルート、ピアノ	2名
・ 3月13日	鐘ヶ淵中学校	ヴィオラ、ピアノ	2名
・ 3月16日	墨田中学校	オーボエ	2名

墨田区内の小学校26校、中学校13校楽員延べ99名を派遣

■演奏クリニック 計98回

- ・ジュニアオーケストラの指導
 - 墨田区 51日 延べ293名を指導
 - 三重県 31日 延べ 65名を指導
- ・楽器演奏指導
 - 三重県 1月～3月の期間 16日 延べ46名
 - 福島県 5,6,9月の期間 6日 延べ32名



音楽の授業に行った学校の生徒からは毎年感想文が寄せられます。その中から第四吾嬬小学校の生徒から寄せられた手紙を紹介します。

- ミニコンサートはえんそうがすごくじょうずかったです。ほくもオーケストラにがんばってなりたいです。こどももまたきてくださいね。またあのすごいトロンボーンのおんがくがききたいです。オーケストラのおしごとがんばってくださいね。
- きょうのえんそうよかったです。さいごのすてきなともだちがみんなであうたえてよかったです。またがっこうにきてください。(小学校2年生)

2009～2010年に向けて 次年度の展望

1. 総論

次年度2009～10年度の経済環境は最悪期は脱したとの報道はあるものの依然厳しい状況にあります。私たちの業界が一般社会よりやや遅れてその影響が出ることを考えると、新日本フィルを取り巻く環境は今後益々厳しさを増すと考えられます。

2009～10年度は音楽監督クリスティアン・アルミンク就任後3期目のスタートの年になります。この6年間で築き上げたアルミンクと新日本フィルの音楽を熟成させていく時期をむかえました。アルミンクによって選ばれた指揮者、独奏者と個性に溢れるプログラム、世界の聴衆を魅了する小澤征爾との共演などを通じて目標に向かって階段をまた一段登りたいと考えています。この年、残念なことは楽団全体を世界のレベルへ引き上げる計画の中、重要な位置を占めていたヨーロッパツアーを中止せざるを得なくなったことです。100年に一度といわれる経済環境の悪化に見舞われ、苦渋の決断をするに至りました。本計画は経済の状況の変化をうかがいつつ、近い将来必ず実現をしたいと考えております。

新日本フィルは1988年以来財団法人として活動を続け、また公益の増進に著しく寄与する団体として特定公益増進法人としても認められてまいりました。そしてこのたび、国の公益法人改革に基づき新たな法人への移行手続きをすることとなりました。次年度中には新しい公益財団法人になるべく申請手続きを行う予定にしております。

次年度においては以下のポイントにその力点を置きたいと考えます。

- ①オーケストラの演奏の質の向上
- ②聴衆の増大
- ③充実した委託演奏会の提供
- ④社会に必要不可欠な団体になるための貢献。
- ⑤パトロネージュ活動の充実

以上をふまえ、確実に階段を一段一段登り日本の音楽文化に貢献し、世界的なオーケストラになるべく努力してまいります。

2. 演奏活動

新日本フィルは「音楽を大切に」活動を続けています。その中心をなすのが「定期演奏会」です。次年度も古今東西の名曲・大作の数々を音楽監督クリスティアン・アルミンクをはじめとする優れた指揮者・独奏者を招いて行います。新日本フィルに初登場するのは日本より欧州で活躍を続ける上岡敏之、フランクフルト放響の音楽監督を歴任したヒュー・ウルフ。それぞれ得意とするR.シュトラウス、ショスタコーヴィチなどでその真価を問います。音楽監督のアルミンクはこの年、就任当初から始めているマーラーの交響曲の第8番と第9番を指揮し、サイクルは完結します。特に超大規模作品であるマーラーの交響曲第8番「千人の交響曲」は新日本フィルの歴史上、小澤征爾、井上道義に続く3回目の公演となります。

特別演奏会としてはチェコの若手実力派指揮者ヤコブ・フルシャを招いた「ベートーヴェンの第九特別演奏会」、小澤征爾の特別演奏会を2プログラム用意し、東京と大阪で行います。

一方、委託演奏会は津（三重県）、多摩（東京都）、可児（岐阜県）の提携しているホールでのコンサートを中心に地方公演を充実させます。

次年度も全国で80公演以上の「本物の音楽」をお届けしたいと考えています。

3. 「新クラシックへの扉」スタート

2009年秋より新たなシリーズ「新クラシックへの扉」がスタートします。トリフォニーホール開館以来10年間にわたり続けてきた「クラシックへの扉」をリニューアルして再スタートするものです。従来の「クラシックへの扉」は土曜日昼の名曲コンサート、国や墨田区からの支援を受けチケットを低価格とし、クラシック普及のためのコンサートとして開催してきました。大変好評をいただきましたが、常に満席で新しいお客様をお迎えできないことが問題として残りました。そこでこの秋より土曜日に加えて金曜日の昼間にもコンサートを開催することとしました。従来の常識ではウィークデイのコンサートは夜でしたが、ライフスタイルの変化を考え思い切って金曜日の昼の公演としました。この企画を成功に導くためには従来のクラシック・ファンだけでなく新たな聴衆の開拓が必要です。加えて低価格なチケットを維持するためには新たな民間企業のご支援も必要不可欠なものとなります。このコンサートの成否は今後私どもの活動全体にも大きな影響を与えることと思います。皆様方のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

4. 地域貢献・アウトリーチ活動

新日本フィルは芸術性の向上とともに音楽の普及を大きな目的としています。このための活動として地元墨田区を中心に積極的なアウトリーチ活動を展開しています。次年度も墨田区と協力して区内の全小中学校で楽団員自らが音楽の授業を行う予定です。また、病院や福祉施設を訪問、ホールに来られない方々にも質の高い演奏をお聞かせします。

私どもはこうした実績とノウハウを全国にも広げたいと考えており、提携している可見市や津市等においてもジュニアの指導、訪問コンサートを展開していきます。墨田区では2012年開業予定で東京スカイツリーの建設が進んでいます。この事業により墨田区は世界中の注目を浴びるエリアになり、文化的にもさらに発展するものと期待されております。新日本フィルは長年にわたるフランチャイズ制とアウトリーチ活動でできた地元との絆を深め、さらに地域と密着した演奏活動を続け地域社会に貢献してまいります。

5. パトロネージュ

新日本フィルは多くのご支援に支えられています。これは私どもの大きな誇りです。パトロネージュ室では2009～2010年度においても一人でも多くの方に新日本フィルのファンになっていただけるような活動をしてまいります。また、ご支援者の皆様とのコミュニケーションを深め、楽団にご理解いただける方を増やし新しいご支援につなげていきたいと考えております。そしてこのご支援をもとに新日本フィルの脱皮を図り、新しい感動を生み出す努力を続けてまいります。

しかしながら入場料収入だけでは運営費を賄いきれないのが新日本フィルだけでなく世界のオーケストラの現状です。私たちはこのようなオーケストラの状況を打開する方策を確立したいと考えておりますが、それには何よりも皆様のご支援を必要としております。いっそうのご理解とご支援をお願いする次第です。

■ 各種データ

1. シリーズ別来場者数 1 公演当たり平均来場者数

1-1. シリーズ別来場者

	2007 年度				2008 年度			
	回数	総席数	来場者数	来場率	回数	総席数	来場者数	来場率
定期演奏会 (トリフォニー)	16	28,816	22,966	79.70%	16	28,816	22,851	79.30%
定期演奏会 (サントリーホール)	5	10,030	8,591	85.65%	7	14,042	11,048	78.68%
クラシックへの扉	8	14,408	14,408	100.00%	6	10,806	10,813	100.06%
室内楽	10	2,520	2,438	96.75%	10	2,520	2,374	94.21%
その他特別演奏会	9	15,988	15,192	95.02%	15	25,525	23,845	93.42%
自主演奏会計	48	71,762	63,595	88.62%	54	81,709	70,931	86.81%
委託演奏会計	88	152,077	121,479	79.88%	※ 83	181,077	153,794	84.93%
総計	136	223,839	185,074	82.68%	137	262,786	224,725	85.52%

※委託演奏会はレコーディング等を除く

1-2. 各シリーズ1公演当たりの平均来場者数

	2007 年度	2008 年度	増 減
	平均来場者	平均来場者	
定期演奏会 (トリフォニー)	1,435	1,428	▲ 7
定期演奏会 (サントリーホール)	1,718	1,578	▲ 140
クラシックへの扉	1,801	1,802	1
室内楽	244	237	▲ 7
その他特別演奏会	1,688	1,590	▲ 98
自主演奏会計	1,325	1,314	▲ 11
委託演奏会計	1,380	1,853	473

2. 財務データ

■貸借対照表の要旨

平成21年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	292,625	流動負債	227,760
固定資産	114,731	固定負債	63,300
基本財産	100,000	退職給付引当金	63,300
特定資産	10,514	負債合計	291,061
その他資産	4,217	【正味財産の部】	
		正味財産	116,296
		正味財産合計	116,296
資産合計	407,357	負債及び正味財産合計	407,357

■正味財産増減計算書の要旨

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
基本財産運用益	225
受取会費・寄付金等	336,145
事業収益	941,794
雑収益	4,469
経常収益合計	1,282,635
事業費	1,134,507
管理費	115,241
経常費用合計	1,249,749
当期経常増減額	32,886
経常外増減	691
当期正味財産増減額	33,578

3. パトロネージュ

2008年度のパトロネージュ室の活動実績です。経済環境の厳しい中、ご支援いただきました方々に心よりお礼申し上げます。引き続き景気の低迷が続いていますが長期的な視点に立ちクラシック音楽へのご理解とご支援をお願いいたします。

次ページ以降に参考資料として皆様からいただいたご支援を仮に各コンサート収支に当てはめた図表を掲載しています。合わせてご覧ください。

3-1 会員数概要

	2007年度	2008年度	前年比
特別支援企業	13社	14社	1社
賛助会（法人）	105社	101社	▲4社
賛助会（個人）	20名	21名	1名
すみだの会（法人）	58社	64社	6社
すみだの会（個人）	255名	255名	—
維持会（個人）	691名	720名	29名
会費	168,730千円	178,400千円	9,670千円

3-2 受取協賛金

2007年度	2008年度	前年比
68,136千円	75,500千円	7,364千円

3-3 賛助会入会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	8	8	4,000千円
2	個人会員	2	2	500千円
合計		10	10	4,500千円

3-4 賛助会退会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	12	13	▲6,400千円
2	個人会員	1	1	▲120千円
合計		13	16	▲6,520千円

3-5 すみだの会（法人）入会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	7	7	1,800千円
合計		7	7	1,800千円

3-6 すみだの会（法人）退会

	種別	数		金額
		会員	口	
1	法人会員	1	1	▲100千円
合計		1	1	▲100千円

〈参考資料〉演奏会収支

1 1公演当たりの収支概要

この表は、コンサートの収支状況をご理解いただくために仮に民間からのご支援金額を各コンサートごとに稼働率によって配分してみたものです。オーケストラの厳しい状況と、皆様のご支援がいかにオーケストラ運営に役立っているかをご理解いただければ幸いです。

■ トリフォニー・シリーズ/サントリーホール・シリーズの1公演当たりの収支

収 入	
入場料	6,118
広告収入他	34
公的補助	4,734
民間支援（配分）	4,541
収支不足	156
計	15,583

(単位：千円)

支 出	
人件費・管理費	7,423
演奏会経費	4,503
指揮者・独奏者	3,657
計	15,583

(単位：千円)

■ トリフォニー・シリーズ/サントリーホール・シリーズ以外の自主演奏会1公演当たりの収支

収 入	
入場料	7,408
広告収入他	13
公的補助	2,383
民間支援（配分）	3,929
計	13,733

(単位：千円)

支 出	
人件費・管理費	5,173
演奏会経費	2,660
指揮者・独奏者	2,719
収支超過	3,181
計	13,733

(単位：千円)

■ 委託演奏会の1公演当たりの収支

収 入	
演奏料	6,118
その他収入	251
民間支援（配分）	611
収支不足	310
計	7,290

(単位：千円)

支 出	
人件費・管理費	5,160
演奏会経費	1,254
指揮者・独奏者	876
計	7,290

(単位：千円)

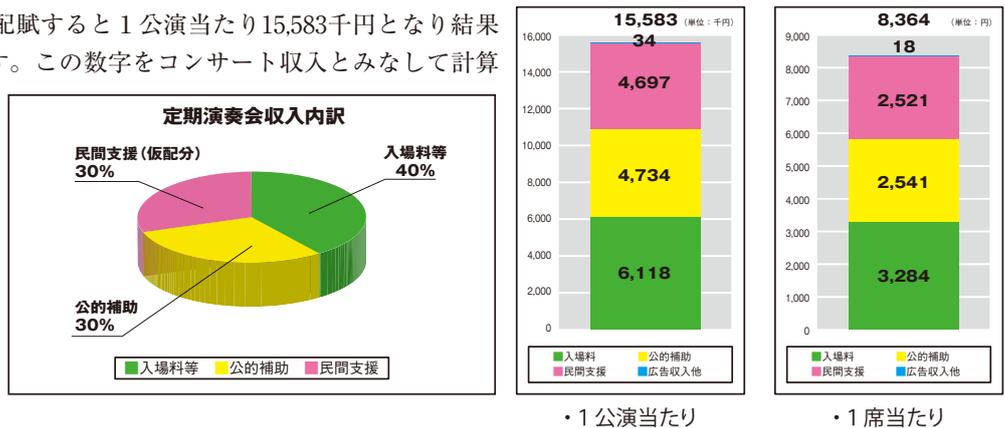
2 トリフォニー・シリーズ／サントリーホール・シリーズ収支

ここでは、オーケストラの収支構造をご理解いただくため自主演奏会と委託演奏会の収支を記載しております。自主演奏会の収支構造はすべて同じであるため、ここではトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズを例にとりご説明しております。

■収入

2008年度のトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズの収入は入場料収入や広告料収入に公的補助を合わせると、10,886千円となりますが、これだけでは必要な経費をまかなえません。これに民間からの支援4,697千円を配賦すると1公演当たり15,583千円となり結果的に収支が見合うようになります。この数字をコンサート収入とみなして計算すると円グラフに示したような比率になります。

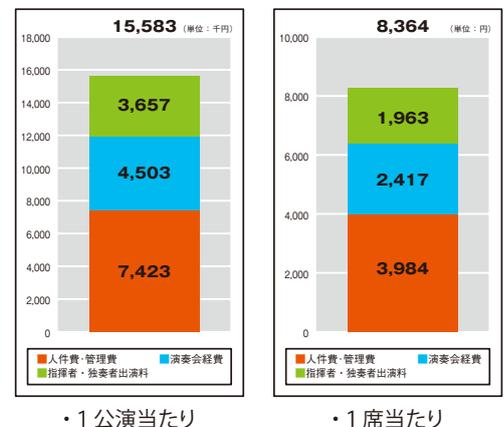
また、この数字を1席当りに換算すると8,364円になります。これは民間からの支援を加えた数字ですから、仮にご支援がなかったとするとチケット料金は1枚につき2,521円の値上げが必要ということになります。



■支出

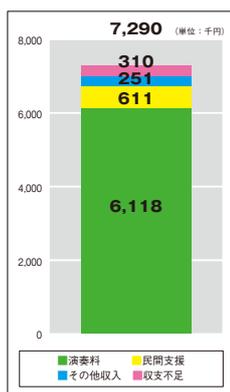
2008年度のトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズの支出は1公演当たり15,583千円となっており、1席当りに換算すると8,364円となっています。

その支出の内訳は右のグラフのとおり演奏会経費、人件費・管理費となります。



3 委託演奏会収支

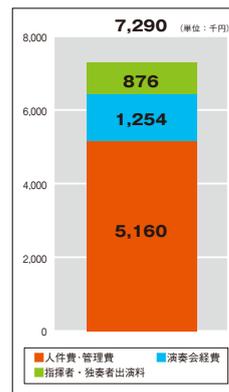
■収入



・1公演当たり

委託演奏会は演奏会経費の負担がない一方入場料収入がありません。そのため仮に1公演に民間支援金611千円を配賦したとしても収支不足310千円が発生する計算になります。オーケストラ演奏料の適正化が求められます。

■支出



・1公演当たり

先のグラフのとおり、委託演奏会は自主演奏会と異なり演奏会経費負担がなく、1公演当たり7,290千円となっています。自主演奏会であるトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズの約半分となっています。

特別支援企業・特別支援団体・賛助会員・維持会員一覧 新日本フィルを支えるすみだの会 法人・個人会員一覧

(2009年6月現在)

■特別支援企業

アサヒビール(株)	AIUファー・イースト・ホールディングス(株)	オリックス(株)
鹿島建設(株)	ソニー(株)	(株)竹中工務店
テルモ(株)	野村証券(株)	フジサンケイグループ
(株)ローソン		

■特別支援団体

オリックス社会貢献基金

■賛助会 法人会員

アイエヌジーバンク エヌ・ヴィ 東京支店 (株)アクア (株)朝日新聞社 アサヒビール(株) あずさ監査法人 Institutional Investor ウシオ電機(株) AIUファー・イースト・ホールディングス株式会社 エムサービス(株) SMK(株) 大崎電気工業(株) (株)岡村製作所 (株)奥野設計 韓国酒家・韓国家庭料理 吾 照 里 オリックス(株) オリックス不動産(株) 鹿島建設(株) (株)カジマビジョン (株)カナエ キッコーマン(株) (株)求龍堂 弁護士法人 光明会 三協フロンテア(株) サントリーホールディングス(株) システム・ロケーション(株) ジェコス(株) (株)資生堂 ジャパン・ポートサービス(株) 湘南デザイン(株) スターツコーポレーション(株) 住商セメント(株) (株)世界貿易センタービルディング ソニー(株) 大興物産(株) 第一三共(株) (株)大京 ダイキン工業(株) (株)大和証券グループ本社 武田薬品工業(株) 田邊工業(株) 中外製薬(株) テルモ(株) デル(株) (医社) 天宣会 (株)電通 東海カーボン(株) 東京ガス(株) 東京商工会議所 東京電力(株) (株)徳間書店	日本における代表者 インヨー ヴァン ヴァスベルグ様 代表取締役 山原 浩様 代表取締役社長 秋山耿太郎様 代表取締役会長 池田 弘一様 理事長代表社員 佐藤 正典様 President Mr. Gilbert E. Kaplan 代表取締役会長 牛尾 治朗様 社長兼CEO ジェフリー L. ハイマン様 代表取締役社長 石田 久人様 代表取締役会長 池田 彰孝様 取締役会長 渡邊 佳英様 代表取締役会長 中村喜久男様 代表取締役 奥野 仁己様 会長 宮内 義彦様 代表取締役社長 山谷 佳之様 代表取締役社長 中村 満義様 代表取締役社長 横尾 優様 代表取締役社長 金子 圭太様 代表取締役会長CEO 茂木友三郎様 代表取締役 足立龍太郎様 代表社員 稲田 龍示様 代表取締役会長 長妻 和男様 代表取締役会長兼社長 佐治 信忠様 代表取締役社長 千村 岳彦様 代表取締役社長 岩本 宣彦様 代表取締役社長 前田 新造様 代表取締役 安原 三郎様 代表取締役CEO 松岡 康彦様 代表取締役会長兼CEO 村石 久二様 取締役社長 角柄 明彦様 代表取締役社長 宮崎 親男様 相談役 大賀 典雄様 代表取締役社長 石川 元道様 代表取締役会長 森田 清様 代表執行役社長 田代 正明様 取締役会長 井上 礼之様 代表執行役社長 鈴木 茂晴様 代表取締役社長 長谷川閑史様 代表取締役会長 田邊 重光様 代表取締役社長 永山 治様 代表取締役会長 和地 孝様 代表取締役社長 ジム メリット様 理事長 西浦 天宣様 最高顧問 成田 豊様 代表取締役社長 工藤 能成様 代表取締役社長 鳥原 光憲様 会頭 岡村 正様 取締役社長 清水 正孝様 代表取締役会長 松下 武義様	トヨタ自動車(株) 虎門中央法律事務所 トランスコスモス(株) 日油(株) 日本電気(株) (株)ニッポン放送 日本スタッドウエルディング(株) 野田喜産業(株) 野村ホールディングス(株) 籾保全(株) (株)ハナエモリ・オートクチュール パナソニック(株) 林法律事務所 阪和興業(株) パラマウントベッド(株) 日立電子サービス(株) (株)日立ビルシステム (株)日立物流 日比谷総合設備(株) (株)ファミリーネット・ジャパン (株)フォンテック (株)フジクラ 富士ゼロックス(株) (株)フジテレビジョン (株)不動テトラ ライニングフィッシュサービス(株) (株)ブリヂストン (株)プロマックス 文化シャッター(株) (株)文芸社 (株)ベネフィット・ワン (株)ホテルオークラ (株)ポニーキャニオン (株)ポネール (株)みずほコーポレート銀行 (株)三井住友銀行 三井不動産(株) 三井物産(株) 三菱商事(株) (株)三菱東京UFJ銀行 (株)宮本組 関東支店 向井建設(株) 森ビル(株) モルガン・スタンレー証券(株) 郵船航空サービス(株) UBS証券会社 ユニオンツール(株) ルートインジャパン(株) (株)ルネサステクノロジ ローム(株)	取締役社長 豊田 章男様 代表取締役社長兼COO 奥田 昌孝様 代表取締役社長 大池 弘一様 特別顧問 佐々木 元様 代表取締役社長 磯原 裕様 取締役社長 大道 邦雄様 代表取締役 野田 拓司様 執行役社長兼CEO 渡部 賢一様 代表取締役 籾 功泰様 デザイナー 森 英恵様 取締役社長 大坪 文雄様 弁護士 林 彰久様 代表取締役社長 北 修爾様 代表取締役会長 木村 憲司様 代表取締役社長執行役員 百瀬 次生様 相談役 深山 俊彦様 代表執行役社長 鈴木 登夫様 代表取締役社長 木村 信也様 代表取締役 城重 信夫様 代表取締役 吉村 澄男様 代表取締役会長 大橋 一彦様 元取締役会長 小林陽太郎様 代表取締役会長 日枝 久様 代表取締役社長 高橋 昭夫様 代表取締役社長 河合 豊様 代表取締役社長 荒川 詔四様 代表取締役 遠山 豊様 特販支社長 神田潤一郎様 代表取締役社長 瓜谷 綱延様 代表取締役社長 白石 徳生様 代表取締役会長 松井 幹雄様 代表取締役社長 桐畑 敏春様 代表取締役 福井 章様 取締役頭取 佐藤 康博様 頭取 奥 正之様 代表取締役社長 岩沙 弘道様 代表取締役社長 飯島 彰己様 代表取締役社長 小島 順彦様 頭取 永易 克典様 取締役支店長 橋本 景毅様 代表取締役社長 向井 敏雄様 代表取締役社長 森 稔様 代表取締役社長 ジョナサン B. キンドレッド様 代表取締役社長 矢野 俊一様 日本における代表者 社長 大森 進様 代表取締役社長 片山 貴雄様 代表取締役 永山 勝利様 代表取締役会長 塚本 克博様 代表取締役社長 佐藤研一郎様
---	--	---	---

■ 賛助会 Symphony Mates

学校法人 世田谷学園

理事長 宮下 陽祐様

■ 賛助会 個人会員

新宿区	東 祥弘様	大津市	津久間 栄様	文京区	松本 謙一様		
中央区	神津うじ様	下都賀郡石橋町	新島 健司様	大田区	森 正勝様		
世田谷区	佐久間 登様	藤沢市	野澤 宏様	渋谷区	山崎 富治様		
世田谷区	佐多 保彦様	足立区	橋本 正己様	目黒区	山本 修造様		
市川市	佐藤 元治様	野田市	堀 慶子様		他3名様		
中央区	鈴木 道夫様	港区	本田 桂子様				
會田 信明様	在原 マサ様	安生 慶様	飯野 一子様	池川 教昭様	池田 憲二様	石井 仁志様	石井 芳子様
石川 栄子様	石黒 隆様	石黒 時子様	石渡林太郎様	石渡 幸子様	伊藤 信彦様	稲田 隆治様	稲吉 昭子様
岩船 展子様	植松 幹雄様	内田 幸子様	浦田 悦夫様	恵美三紀子様	遠藤 怜子様	大澤嘉代子様	岡崎 卓見様
岡野 嘉久様	貝本 清美様	加藤 珠枝様	加福 光一様	唐木 昭様	河内 忠様	河内 京子様	川瀬 健介様
川瀬 絵美様	河津 緑様	北村 昭治様	久保田美禰子様	小池 一夫様	小池 幸子様	神津うじ様	光明 幸子様
小林 章弘様	小林 政雄様	小松 久男様	堺 克利様	坂倉千恵子様	阪田 英明様	阪野 徹様	佐藤 弘司様
佐藤 真一様	佐藤 妙子様	佐藤 堯様	佐藤 晋郎様	佐藤 越様	清水 睦子様	白崎 邦雄様	新谷 始子様
新橋 一三様	鈴木佐和子様	鈴木 直子様	瀬川 和子様	関根 一禄様	善場 弘子様	園田 幸男様	園部 和以様
染谷 香様	竹内 久乃様	竹内 光子様	竹田 輝男様	竹田 幸子様	竹田 興様	田所 裕美様	田中 龍彦様
田中 喜雄様	田生 宏禎様	田村久美子様	丹内 寛様	千木良明德様	寺崎 誠作様	寺澤 佳子様	照木 健様
徳山美沙子様	戸塚 正輝様	永田 浩治様	永田真由美様	永田ゆりの様	中塚 秀次様	根本 直之様	野上 哲夫様
野田 直広様	野村 勝美様	萩原 道彦様	林 雅弘様	原 浩子様	原 正和様	日高理恵子様	平野 篤司様
藤井 正昭様	堀之内建二様	前田きく江様	牧野 倫世様	牧野 英之様	馬瀬 清孝様	松田 正樹様	松田 涼子様
松本 敬子様	松本 隆志様	三浦 圭子様	宮本 忠治様	宮本 信正様	村上 一平様	村上 瑛子様	村上 睦様
森川 穰様	森山 薫様	門馬 正和様	矢野 共栄様	山本 修三様	山本 潤子様	湯村 蔚子様	横川 寛様
吉井 澄雄様	渡辺 栄子様	他42名様					

■ 維持会員

藍 尚禮様	藍 安子様	秋鹿 武志様	青木 禎様	青山 孝徳様	赤坂 有紀様	赤坂 芳子様	秋山 澄様
秋山 友子様	秋山 瑞枝様	阿久澤恭子様	阿子島淑江様	浅川 兒子様	浅川 博様	旭 恭石様	浅見 照一様
足立 純枝様	安達 澄代様	穴吹 福代様	阿部真理子様	新井 真様	荒川 健秀様	アロエベラふれんず様	
アロエベラユニバース様		安生 智様	安東 潔様	安藤 信子様	五十嵐 恵様	生田 芳朗様	池内あかり様
池内 恵美様	池口 邦彦様	池田 京子様	池本 和子様	石井 暁子様	石井 明俊様	石井 景子様	石井 博子様
石井 洋子様	石川 明子様	石川 郁子様	石川 正志様	石戸谷和久様	石戸谷行子様	石野多加子様	石橋 昭彦様
石橋 祐司様	石原 文子様	和泉 雅子様	磯貝 恵三様	磯野喜美恵様	磯部 房子様	市原 典子様	井出 明宏様
伊藤 和明様	伊藤 憲一様	伊藤 順子様	伊藤 信夫様	伊藤もと梨様	伊藤祐一郎様	稲垣 裕様	稲本 隆司様
稲本 玲子様	犬飼 早苗様	猪上 英二様	井上 雅之様	井下 章様	今嶋 泰史様	岩崎 静江様	岩澤 康子様
岩本順一郎様	印南 慶俊様	印南 陽子様	植木 桂子様	植木 三郎様	植田 健夫様	上田 常子様	上田 治久様
上田 博子様	上野 誠治様	魚住 昭子様	内田真也子様	内海 充康様	賣野 昌代様	海野 泰代様	江黒 俊弘様
江畑 隆夫様	海老原典子様	遠藤 利恵様	小江 恵子様	大家 邦久様	大内 一也様	大内三千代様	大江 匡様
大江ひろ子様	大島 恵子様	大島 厚太郎様	大嶋 朋子様	大慈彌豊子様	太田 詔様	太田 弘様	太田 裕康様
太田富久子様	太田 麻由様	太田 萬蔵様	大塚 達美様	大野 千穂様	大野美智子様	大坪 元至様	大友りう子様
大本 千賀様	小笠原史豊様	岡田 邦明様	岡田 三郎様	岡田 二郎様	岡田 哲様	岡田 利歌様	岡戸美智代様
岡野 泰男様	岡橋 修様	岡橋 真琴様	小川いち子様	小倉 勝美様	小倉銃十郎様	長 信也様	尾崎 進克様
尾崎 輝郎様	小田 哲夫様	小沼 徹様	小沼 礼子様	小野 敏夫様	小野寺孝子様	尾山 進様	織田 幸子様
織田 理英様							
香川由記子様	柿木 伸之様	影井 良貴様	笠井みさ枝様	笠原 孝夫様	梶山 恵子様	片岡 容子様	片桐 雅子様
片岡 正行様	片山美佐子様	勝部 泰次様	勝又 禮子様	勝村 務様	加藤喜美夫様	加藤 忠男様	加藤 文子様
加藤 祐一様	角野 文和様	金窪 悠様	金澤 寛様	金沢ゆかり様	金子くに子様	金子 忠正様	鎌田 隆様
上久保君江様	上村由起子様	亀田 葉子様	川井 明様	河内 真人様	川上 成直様	川口 泰宏様	川崎 弘子様
川嶋 節子様	河田 淑子様	河津てつ子様	河村 康二様	河村 臣生様	河村 寛子様	川本 敬三様	川本 仁美様
川本 康子様	神田 泉様	神田 進様	木内 一美様	菊田 桂子様	菊池 文子様	菊原 理恵様	菊原理紗子様
木田 政教様	木坂 従子様	北角 嘉徳様	北角 智美様	北村 尚子様	木下潤一郎様	木下 紀子様	木下 典夫様
木下 典子様	木村 真弓様	木元 淳子様	桐田 裕美様	桐田 光修様	日馬 ハナ様	國部千代美様	久野 準子様
久能 見様	久富木文子様	クリスティアン・アルミンクの会		黒川 聡様	黒田 信五様	黒田 汪子様	慶野 卓代様
小池 篤子様	小池 將雄様	小池美智子様	郷右近タエ様	上月 千鶴様	河野久仁子様	古賀 慎治様	小久保晴行様
小柴 禮悦様	小谷 宏行様	後藤 慶子様	後藤 敬子様	後藤 環樹様	後藤 陽子様	小西 純子様	小林 修様
小林 京子様	小林 憲史様	小林 千賀様	小林 弘明様	小林 洋様	小林 睦子様	小林 百枝様	小林 幸子様
小林 義明様	小船 善弘様	小松 洋子様	小宮山 忍様	小山 永子様	小山 希一様	近藤 和枝様	近藤 孝子様
金野 民雄様							

斎藤恵美子様	斎藤 俊二様	斎藤 正様	齊藤 博様	斎藤由利子様	佐伯美智子様	五月女進一様	坂井榮八郎様
堺 得夫様	酒井 知彦様	酒井 紀子様	境野 環樹様	榊原 祥子様	坂田奈央子様	阪田 信子様	坂田 光穂様
坂本 勇様	崎谷 綾子様	桜田 雅子様	佐々木 勇様	佐々木恭子様	佐々木恵子様	佐々木将人様	佐々木鞠子様
笹野トシ子様	笹野 晴雄様	佐治 薫子様	佐藤 弘毅様	佐藤 信秋様	佐藤 雅子様	佐藤 勝様	佐藤 安洋様
佐藤利津子様	里見 正憲様	真田 平次様	更科 博子様	沢部 浩久様	澤谷 学様	椎名 武雄様	椎谷 正男様
潮上 征子様	志岐 宏様	穴戸昭三郎様	穴戸万里子様	篠崎 知子様	篠原 辰夫様	篠原るり子様	柴崎 厚子様
柴田 乙雄様	柴田 文雄様	島崎 信様	島崎ひろみ様	島崎 義勝様	島田 富子様	嶋津 優子様	清水 詮代様
清水 秀昭様	清水 睦子様	志村 光恵様	下野 絵梨様	下野久美子様	白瀬 好子様	城田新一郎様	新保 和子様
晋友会合唱団様	末松 信子様	菅原 彰様	杉江 弘仲様	杉林 裕夫様	杉原 久雄様	鈴木 克己様	鈴木 公正様
鈴木 孝治様	鈴木佐和子様	鈴木 茂様	鈴木すみ子様	鈴木 隆様	鈴木 英夫様	鈴木 雅夫様	鈴木 雅博様
鈴木 美和様	鈴木 泰子様	砂畑 光江様	住吉 純子様	成城合唱団様	瀬川 和子様	関 佐奈江様	関 守様
関口 典子様	関端 政明様	瀬古 康子様	瀬下 敬子様	善場 弘子様	相馬 晶夫様	添田 淑子様	園田 洋様
高木 敬子様	高田 晴子様	高橋 明子様	高橋 幸子様	高橋知佐子様	高橋 幸恵様	高橋 行雄様	高橋 洋子様
高橋リエ子様	高部 典子様	高松 則雄様	高森きよ子様	瀧上 智恵様	瀧川 迪子様	瀧澤 奎二様	滝野 豊様
武井 巖様	武井 勉様	竹内 昭様	竹内 孝様	竹下 幸枝様	竹田津文俊様	武中 香様	竹中スミ子様
田島 夏与様	田代 益啓様	田中 敏子様	田中 由美様	田原 時男様	玉村 稔様	田邨 幸也様	千々岩浩子様
塚本 八峰様	土屋 努様	堤 久見子様	網島功太郎様	角田美智子様	釣巻 耕秀様	寺蘭扶美子様	照井 淑子様
東京アカデミックカベレ様		土肥 昇様	遠田 睦子様	遠田 柚一様	徳永 和子様	轟 ヒサ様	友田 寿子様
内藤 昭様	内藤 明枝様	内藤 薫様	内藤 藤三様	内藤 昌浩様	内藤 峰子様	永井 宏様	長井 裕史様
中井 幸夫様	永井 秀文様	永石 嘉子様	中尾 恭子様	中川 裕美様	長澤 絢子様	中嶋喜代子様	中嶋 欣三様
永田 教子様	永田 仁様	中藤 月子様	中藤 泰雄様	中野 喬様	中野 浩様	永原 令子様	永松 智美様
永宮 毅久様	中村 京子様	中村 清高様	中村 博様	中村美代子様	中村 由利様	中村 義政様	中山 朋子様
名越 恵子様	名越万利子様	那須 孝男様	生江 隆彦様	鳴海 充久様	鳴海 庸子様	新里 正様	新里みどり様
新美 誠様	西川 悟様	西川 康子様	西沢 智康様	西嶋美千代様	西田 克彦様	西田 智美様	西田 好美様
西谷 博様	西村 清邦様	西本 徳子様	沼田 隆芳様	根木 康利様	野村あい子様		
芳賀 珠世様	袴塚 敦様	箱木 克士様	長谷川明絵様	長谷川光明様	支倉二二男様	畠中 達夫様	秦野 昭二様
濱田 貴子様	浜田 光子様	浜野 千鶴様	羽村 雅俊様	早川 知宏様	林 恵子様	林 克昌様	林 豊様
原 知佐子様	原 英記様	原 洋子様	半田 庄司様	半田三枝子様	半田 祐一様	半戸嘉奈江様	東尾 愛子様
東尾 吉信様	樋口 弥生様	平井 基雄様	平川 水晶様	廣瀬 駒雄様	広瀬由紀子様	深井 澄二様	深草耕太郎様
布川 隆志様	福崎至佐子様	福澤寿美子様	福澤 寿子様	福島 高夫様	福嶋 広様	福田 晴彦様	福田美知子様
福田 義晴様	藤井 和子様	藤岡 正枝様	藤久保美智代様	藤田 哲也様	藤田 直子様	藤田 正彦様	藤森 宏一様
藤森 貞雄様	船橋 有様	古川原裕仁様	古澤 恵子様	古矢 冷子様	細尾 直子様	細谷 エイ様	法橋 建様
穂満 孝子様	堀 博司様	堀内美奈子様	堀口 勝様	堀口美代子様	堀田 文雄様	本郷 順子様	本宿 克様
前小屋弥子様	前澤 麻子様	前田 勝美様	前田 久男様	前田 美奈様	前田友見子様	卷 道夫様	牧嶋 利夫様
真島 香織様	松井久美子様	松井 茂様	松波 恵子様	松原 淑子様	松宮 道子様	松本 明男様	松本 和子様
松本万里子様	松谷 正敏様	間宮 悠様	間宮美智子様	豆生田信一様	豆生田めぐみ様	丸茂 健様	三浦百合子様
三田 賢治様	三津田 敬様	三津田信子様	光信 利彦様	三橋久美子様	峯岸 好江様	三平 武男様	宮 緑様
宮川 暉雄様	三宅加代子様	都田 慶裕様	宮崎 隆男様	宮崎 美枝様	宮崎 美子様	宮下 節様	宮代 臣之様
宮脇 博嗣様	三輪美枝子様	向口 周子様	向坊富士子様	村上健一郎様	村上 正様	村瀬 昭二様	村松 博様
村山 歩様	村山 公美様	毛利 曄子様	本吉 清美様	百瀬 毅様	森 トキ子様	森 玲子様	森川 栄様
森川 智子様	森田 和久様	守屋 浄秀様	師岡 一司様	諸橋 反子様	門田恵利子様		
矢板 玲子様	沼 壽様	夜久 吉宏様	矢口 真様	矢倉美保子様	矢代 元子様	安田まゆみ様	安田百合子様
柳下 等様	山口 博様	山崎 博一様	山下 幸子様	山田善四郎様	山田 拓実様	山田 徹男様	山田 文子様
山田マリ子様	山津 一之様	山中 厚子様	山中美代子様	山林 容子様	山本 明子様	山本千鶴子様	山本 智雄様
山本 洋様	山本 康子様	油井 幸子様	横澤 有子様	横堀 辰也様	横山 雅弘様	横山 宏子様	横山 優子様
吉澤 清志様	吉澤 輝二様	吉澤 知子様	吉田 勝信様	吉田 菊子様	吉田 瑞恵様	吉野あや子様	吉野 邦夫様
寄島 清美様							
栗友会様							
若狭 慧様	若狭 正子様	若日田富美子様	和気 愛様	和田 英恵様	和田 倫子様	渡部 明子様	渡邊 千寿様
渡邊千津子様	渡辺 信宏様	渡辺 雅晴様	渡辺 美香様	渡辺 和様	渡邊 令子様	他28名様	

■新日本フィルを支えるすみだの会 法人会員

(株)阿久津電機	代表取締役	阿久津和恵様	関根床用銅板(株)	取締役会長	関根 宏一様
アサヒビール(株)	代表取締役会長	池田 弘一様	(株)セラフ	代表取締役	土屋 努様
(株)アスク	代表取締役社長	青木 桂三様	(株)第一ホテル両国	代表取締役社長	吉地 亨様
(株)アートヴィレツダ	代表取締役社長	鈴木安喜雄様	(株)大染	代表取締役	大屋 實様
アメリカンホーム保険会社	日本における代表者	横山 隆美様	大東印刷工業(株)	代表取締役	佐竹末太郎様
(株)アルカタワーズ	代表取締役社長	田中 進様	中央(株)	代表取締役	小田桐 修様
AIU保険会社	日本における代表者 会長	横山 利夫様	(株)中央商会	代表取締役	岸田 幸夫様
(株)エス・シー・アライアンス	代表取締役社長	松木 哲志様	(株)テイバクニット	取締役社長	浅輪 重信様
大坪電気(株)	代表取締役	大坪 政次様	東京コカ・コーラボトリング(株)	代表取締役社長	高梨 圭二様
岡部バルブ工業(株)	代表取締役	岡部長八郎様	東京建物(株)	代表取締役社長	南 敬介様
花王(株)すみだ事業場			東京彫刻工業(株)	代表取締役	花輪 篤稔様
(株)糟谷	代表取締役社長	糟谷 孝男様	東京東信用金庫	名誉会長	高橋 久雄様
キップス(株)	代表取締役	田中 正裕様	(株)東京舞台照明ホールディングス	代表取締役	寺田 義雄様
錦糸町熱供給(株)	代表取締役社長	富岡 建治様	(株)東京楽天地	取締役社長	山田 啓三様
久米繊維工業(株)	代表取締役会長	久米 信市様	東武鉄道(株)	取締役社長	根津 嘉澄様
京成電鉄(株)	取締役社長	花田 力様	(株)仲むら	代表取締役	中村 信子様
国宝商事(株)	代表取締役	山中 弘様	(株)南波工業所	代表取締役	梨本 博彦様
三恵産業(株)	代表取締役社長	阪本 和男様	(株)日建設計	代表取締役社長	岡本 慶一様
(株)三高	代表取締役	車 盡一様	(株)日本イトミック	代表取締役	伊藤 大貴様
サンワプリント(株)	代表取締役社長	久米マチ子様	(株)ピート	代表取締役	赤池 順一様
(株)CIC	代表取締役	真壁喜久夫様	フジサキテキスト(株)	代表取締役	藤崎 義朗様
(株)シグマコミュニケーションズ	代表取締役社長	西野 好彦様	(株)船橋屋	代表取締役	渡辺 孝至様
(株)施設管理サービス	代表取締役会長	加藤 満司様	丸源飲料工業(株)	代表取締役社長	阿部 貴明様
(株)ジェイコム東京すみだ局	取締役すみだ局長	岡田 茂様	(株)ムラヤマ	代表取締役	日下部 肇様
(有)事務所ニュースセンター	代表取締役	平井 基司様	(株)モルフォ	代表取締役会長	石川 勲様
(株)昭電	代表取締役社長	太田 光昭様	(株)ユービ	代表取締役	小須田 学様
杉田エース(株)	代表取締役社長	杉田 直良様	(有)良味オフィス	代表取締役	高橋 良味様
(株)杉田製線	取締役社長	杉田 光一様	ライオン(株)	代表取締役社長	藤重 貞慶様
(株)鈴徳	代表取締役社長	鈴木 徹様	YKK AP(株)	代表取締役社長	吉田 忠裕様
ステップサイエンス(株)	代表取締役	郡司 次郎様	渡辺パイプ(株)	代表取締役社長	渡辺 元様
スマグ飲料(株)	代表取締役	阿部 豊様			
一般社団法人墨田区観光協会	理事長	阿部 貴明様			

■新日本フィルを支えるすみだの会 個人会員

相澤 邦雄様	青木 剛様	秋葉 恵子様	阿部吾三郎様	新井 伸也様	有田 武雄様	安藤 朝規様	飯盛 馨様
飯森 康雄様	池田 君子様	池田 成美様	池田 善久様	石井 秀和様	石川 一博様	石川 幸子様	磯川 敏夫様
稲田 武士様	井上 彩子様	井上 俊策様	井上 英男様	今井 敏子様	今泉 峰子様	今川 和夫様	今牧 茂様
岩佐 一郎様	岩瀬 均様	岩本千恵子様	浮田 康宏様	宇戸 富江様	采女 奈穂様	江口 利一様	遠藤 浩吉様
太田 幸子様	大瀧 愛子様	大滝 信一様	大谷 弥生様	大塚 真美様	大林 完二様	大室 輝雄様	岡田 貢様
小川 幸男様	沖田くじ江様	沖田 茂様	長田 昭子様	長田 行雄様	織田雄二郎様	小野 拓様	小山 季廣様
海宝 雄次様	嘉義 悦子様	鹿島田和宏様	加治原 郁様	片桐 徳一様	勝田 顕良様	勝俣 泰様	加藤 ハル様
加藤 祐子様	金澤 重雄様	狩野 秀子様	上條 隆志様	亀田 紀子様	河合 克美様	河上 俊郎様	川嶋 宏平様
川端 孝子様	岸川 紀子様	岸本 佳巳様	北川 孝雄様	北村 芳子様	木村 敏子様	國枝 純一様	久保 孝之様
久保 友吉様	久保木 章様	熊谷美智子様	熊谷 安弘様	栗田 陽様	栗原 博様	桑原きよ子様	郡司 剛英様
小池 信子様	河野 弘子様	小久保 明様	小暮 真人様	小嶋眞一郎様	小林 清様	小室 秀夫様	近藤 舜二様
齋藤 正路様	斎藤 雄吉様	境 恵子様	酒井 敏春様	坂倉 重徳様	坂田 静子様	坂本 康治様	佐久間 之様
櫻田 智様	雑喉 利祐様	佐藤 英治様	佐藤 とく様	佐藤ゆり子様	真田 平次様	鯨島 栄子様	三部 治美様
宍倉 義人様	宍戸 亮様	篠崎 染子様	篠原 孝子様	柴山 啓子様	島崎 進様	鳥田 悦子様	清水 寛様
庄司 孝憲様	白鳥 淳様	新橋 一三様	末富 裕二様	杉野 清志様	杉本 哲夫様	杉山美智子様	鈴木 篤様
鈴木えみ子様	鈴木 和昭様	鈴木 節子様	鈴木 真里様	鈴木フサ子様	鈴木 藤子様	鈴木 陽子様	関口 卓也様
関口 皆子様	関口 芳正様	関根 和子様	関根 正己様	関谷美奈子様			
高島 洋明様	高根 和子様	高野 祐次様	高橋 宏幸様	高橋 政幸様	高橋 芳江様	高林 眞理様	田上 元則様
高村 弘晃様	高山 一郎様	高山 二郎様	竹本 葆様	竹山 智子様	田代 裕子様	館野 功様	田中 進様
田中富士子様	田中 正右様	田中 美江様	田中三恵子様	田中美也子様	玉居子博子様	玉岡みどり様	鶴間 純治様
寺澤美代子様	任田 節様	東谷万智子様	常磐 隆様	豊崎 壽幸様	富岡 邦郎様		
内藤 精一様	中潟 信和様	中武 繁明様	中谷 賢一様	永廣 修様	中村 数江様	仲村 和子様	中村 重郎様
中村 澄子様	中村智世子様	中村 弘様	中村 文男様	永盛 省夫様	中山 誠様	並木 節子様	奈良 康司様
仁王 紀夫様	西明 帝子様	西田 透様	西田みちよ様	野口 富子様			
萩原 和富様	浜田 将彰様	早川 栄子様	早崎ふで子様	林 恵子様	樋口 修一様	百花亭 様	平野 宏和様
深野 紀幸様	福山 裕子様	福山 弘様	藤井 正昭様	藤田 彰様	藤田 悟様	藤原 操様	藤春加代子様
船越 隆司様	舟橋 章様	古澤 武雄様	細川 保夫様	堀川 順弘様			
前田 恵子様	牧野 光江様	増田 淳子様	松澤 治子様	松竹 耕治様	丸橋 健司様	三浦 良雄様	水口 都季様
宮城 進様	宮澤恵美子様	宮本 高子様	森 隆夫様				
矢島真由美様	安井 真子様	安井 信子様	安田 信子様	柳田サタヨ様	山口 昭義様	山崎 剛様	山崎 茂樹様
山下 公平様	横山 信雄様	吉倉 信広様	吉沢弥重子様	吉田 章様	吉田美津子様		
渡辺 一夫様	渡辺 茂男様	渡邊 正雄様	渡会 順久様	他10名様			

今年には作曲家ハイドンの没後二百年。これを記念して新日本フィルハーモニー交響楽団が指揮者フランス・プリュッヘンとともに「ハイドン・プロジェクト」と題した五回の演奏会を始めた。ハイドンはかなりの連続演奏は世界的にも珍しい。長く忘れられた十八世紀のルール（作法）を使って、生き生きと刺激的な音楽をよみがえらせている。

新日本フィルのハイドン演奏

「交響曲の父」と呼ばれるハイドン。その作品は、例えば十九世紀後半のマラーに比べれば演奏技術は易し、時間も短い。でも、オーケストラマンたちは「難しい」という傾向にある。いわ「シンプル」な音楽だから「小ざなミスが致命的になる」「楽譜通りに演奏してもつまじくなる」……。

ハイドンの時代の楽譜は、指示が少なすぎる。だから演奏者は「音符は読めてもどんな風に弾けばよいのか、強い音なのか弱い音なのか、迷いがなかった。短い間隔で新しい音が、などと悩む。リハールに現れたプリュッヘンの指示は細かく、

日本フィルの演奏を止め、表情豊かに「こほこほ、こほこほ」という風に、と説明する。テンポや強弱、音の区切り方（アーチイキエレーション）が中心だが、時には長い腕を上げて「鳥が空へ飛び立つように」など具体的なイメージも与えながら、音楽に色づけをしていく。ちなみにこの日はオラトリオ「天地創造」のリハールだった。

そのさまを新日本フィルの音楽監督を務める若手指揮者、クリスティアン・アルミンクが見ると「十八世紀には教則本にこれらが書かれていた。しかし「フランス革命や産業革命を経て次第に読まれなくなった」とプリュッヘンは説明する。顧みられたのは第二次大戦後。プリュッヘンをはじめとする音楽家たちが、当時の演奏に疑問を感じ、膨大な文献を読み、作曲家の手書き譜に近い楽譜を探してルールを読み解いた。楽器も、作曲家の生きた時代に近いものを使った。すると「典拠」もなかった。彼ら「古典派」とも呼ばれる人々は、今や音楽界の一大勢力になっている。

音楽を会話のように

18世紀当時の演奏法に挑む



18世紀オーケストラを率いる。欧州各地のオーケストラに客演もしている。1934年アムステルダム生まれ。リコーダーやフルート奏者を経て指揮者となり、一流の古楽器奏者の集団である「18世紀オーケストラ」を率いる。欧州各地のオーケストラに客演もしている。

学していた。アルミンクも「ベートーベンやモーツァルトはある程度の知識で指揮できるが、ハイドンはそうはいかない」と認める一人だ。

プリュッヘンは「あの時代のルールさえ知れば、ハイドンの演奏は簡単なんだよ」という。例を挙げてもらった。音階が上がるころは、クレッシェン

表情豊かに新日本フィルとリハールを率えるプリュッヘン（東京・錦糸町のすみだトリフォニーホール）

（文化部長 瀬崎久見子）

Annual Report 2008-2009

2009年8月31日発行

発行者 財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3

すみだトリフォニーホール内

TEL. 03-5610-3820 www.njp.or.jp